

法人本部

事業概要報告

法人理念「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は 110 年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。



平成 25 年度は、法人の取り巻く社会経済状況の変化を受け、一層効率的な法人経営が求められ、また、経営実態をより正確に反映した形で外部への情報公開（公的資金・寄附金、法人全体の財務状況の明確化、経営分析等）も勘案し、新会計基準に移行しました。

整備事業では、老朽化した児童施設の構内電話交換機（PBX）取替により、法人内全てが無料通話となり経費削減を図ることができました。また、大規模災害発生に被害を最小限に留め、事業継続・早期再開を図るには迅速かつ的確な情報収集と職員の初動対応が求められるため災害時緊急連絡体制の強化として災害時安否確認システムを導入いたしました。尚、今後の課題点は職員の意識（災害時緊急連絡体制）向上対策が求められます。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数		議 題
	理事	監事	
H25. 4. 18	9	2	1. 理事長の選任について 報告事項 土地地積更正登記・合筆登記について
H25. 5. 22	9	2	1. 平成 24 年度事業報告について 2. 平成 24 年度会計報告について 3. 平成 24 年度監事監査報告について 4. 定款変更届出（案）について 5. 給与規程細則一部改正（案）について 6. 建設準備委員選任（案）について 7. 不動産（土地追加）取得（案）について
H25. 9. 11	10	2	1. 地域密着型小規模多機能居宅介護施設（複合型サービス）建設に関する設計監理業務委託について
H25. 10. 23	7	2	1. 平成 25 年度追加・変更事業計画（案）について 2. 平成 25 年度資金収支補正予算（案）について 3. 施設長の人事案件について 4. 理事会（H25. 5. 22 開催）第 4 号議案「定款変更届」廃案について 5. 定款変更届について 報告事項 1. 地域密着型小規模多機能居宅介護施設について 2. 不動産取得「富士市今泉 2119 番、2200 番」について 3. 不動産登記完了 4. 理事長専決事項「人事等」について
H26. 3. 26	9	2	1. 平成 25 年度指導監査実施報告について 2. 就業規則一部改正（案）について 3. 資金の積立（案）について 4. 平成 25 年度資金収支補正予算（案）について 5. 平成 26 年度事業計画（案）について 6. 平成 26 年度資金収支予算（案）について 報告事項 1. 地域密着型小規模多機能居宅介護施設について 2. 理事長専決事項（人事、法人収入、支出）について 3. 第三者評価結果の公表について 4. 定款変更認可について

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
H25. 5. 22	19	2	1. 平成 24 年度事業報告について 2. 平成 24 年度会計報告について 3. 平成 24 年度監事監査報告について 4. 定款変更届出（案）について 5. 給与規程細則一部改正（案）について 6. 建設準備委員選任（案）について 7. 不動産（土地追加）取得（案）について
H25. 10. 23	16	2	1. 平成 25 年度追加・変更事業計画（案）について 2. 平成 25 年度資金収支補正予算（案）について 3. 施設長の人事案件について 4. 理事会（H25. 5. 22 開催）第 4 号議案「定款変更届」廃案について 5. 定款変更届について 報告事項 1. 地域密着型小規模多機能居宅介護施設について 2. 不動産取得「富士市今泉 2119 番、2200 番」について 3. 不動産登記完了 4. 理事長専決事項「人事等」について
H26. 3. 26	19	2	1. 平成 25 年度指導監査実施報告について 2. 就業規則一部改正（案）について 3. 資金の積立（案）について 4. 平成 25 年度資金収支補正予算（案）について 5. 平成 26 年度事業計画（案）について 6. 平成 26 年度資金収支予算（案）について 報告事項 1. 地域密着型小規模多機能居宅介護施設について 2. 理事長専決事項（人事、法人収入、支出）について 3. 第三者評価結果の公表について 4. 定款変更認可について

2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項目
H25. 5. 9	勝又長見	H24 年度業務執行状況
	鈴木英之	H24 年度財産状況



会計監査



処遇監査

3 役員研修会の参加

開催年月日	研修場所	内容	参加者
H25. 4. 18	グランシップ	監事監査研修	監事 1 名 理事 1 名
H25. 10. 18	グランシップ	法人経営セミナー	理事 1 名 評議員 2 名
H26. 2. 14	グランシップ	決算実務講座（新会計基準）	評議員 1 名

4 寄付金

2, 702, 494 円（本部 604, 242 円、ひまわり園 1, 177, 781 円、みどり園 760, 471 円、みざわ園 160, 000 円）

5 植松茂子奨学基金

45, 892, 320 円（平成 26 年 3 月 31 日現在）

6 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
H25. 4. 2	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H25. 4. 18	新任職員研修会	みぎわ園「地域交流室」
H25. 6. 4	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H25. 6. 10	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」
H25. 8. 7	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H25. 8. 24	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H25. 10. 4	美化運動（秋）	芙蓉会敷地内
H25. 10. 20	市民福祉祭り	富士市中央公園
H25. 10. 21	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H25. 11. 6	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H25. 12. 5	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」
H25. 12. 25	クリスマス会	ホワイトパレス
H26. 1. 4	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」



辞令交付式



新任職員研修



創立 110 周年記念式典



夏祭り



市民福祉祭り



普通救命講習会



クリスマス会



新年挨拶会

7 機関誌発行



第 40 号 H25.4 発行



第 41 号 H25.7 発行



第 42 号 H25.10 発行

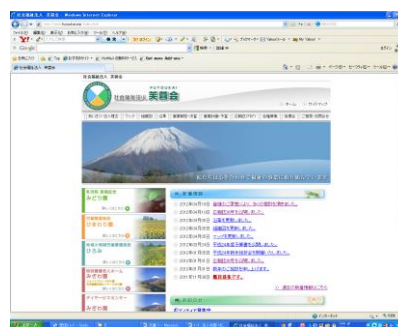


第 43 号 H26.1 発行

8 ホームページ更新 78回

主な公開

- ・H25年度法人行事、寄附行為等
- ・H24年度事業報告、決算書
- ・H25年度広報誌掲載
- ・H25年度職員募集掲載
- ・H26年度職員採用情報
- ・H25年苦情受付情報
- ・H26年理事長新年挨拶
- ・H26年度事業計画、予算書



9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正規	非常勤	正規	非常勤
法人本部		1名		
ひまわり園	5名	3名	6名	2名
みどり園	7名	5名	11名	3名
みぎわ園	14名	5名	9名	3名
計	26名	14名	26名	8名

10 苦情対応

苦情：0件

お問い合わせ：8件

(法人本部0件、ひまわり園6件、ひろみ1件、みどり園1件、みぎわ園0件)

児童養護施設 ひまわり園（定員 90 名）

事業概要報告

平成 25 年度、ひまわり園は 82 名（男子 42 名、女子 40 名）の児童でスタートしました。新規入所はわずか 3 名で、例年になく少ない年でした。その理由として考えられることに里親委託の増加があります。国の施策「社会的養護による支援が必要な児童の 3 分の 1 は里親委託」に基づいた静岡県の方針が施設への入所児童の減少につながったと考えられます。ひまわり園は年間を通じて 90% 以上の充足率を維持したため、26 年度も暫定定員にはなることはありませんが、今後の施設運営にも大きな支障をきたす可能性もあるため、動向が非常に気にかかるころではあります。



退所児童は 11 名でしたが、家庭引き取りの人数は少なく、児童が施設入所した後も環境が改善されない家庭が多いことがわかります。面会、相談、外泊などを通して保護者に働きかけをしていますが、問題改善の難しさを痛感しています。

植松茂子奨学基金を利用して看護学校に進学した児童は、20 才の誕生日を迎えた時点で法律上措置解除となりましたが、その後 7 ヶ月間ひまわり園で生活支援を行い、3 月下旬より静岡市内のアパートで自活を始めました。厚生労働省は、満 18 才を超えた児童が進学した場合等に積極的に措置延長を活用するようにと平成 23 年に通達を出しています。しかし「満 20 才に達するまでの間」という条件があり、在学中であっても措置解除になり、措置費が支弁されなくなるという問題が存在します。

高校を卒業した児童は 4 名おりました（公立高校 2 名、私立高校 1 名、特別支援学校高等部 1 名）。それぞれ高校への求人等を通して県内の優良企業等に就職することができました。

【25 年度退所児童内訳】 11 名

- ① 家庭引き取り 2 名
- ② 就職自立 5 名（高校卒業・就職 4 名、高校中退就職 1 名）
- ③ 措置変更 2 名（知的障害児施設へ）
- ④ 年齢超過による措置解除 1 名（看護専門学校生が満 20 才になったため）
- ⑤ 高校進学に伴う他施設への措置変更 1 名

中学3年生は5名おりましたが、学習ボランティアさんの協力や担当職員の学習指導を受けて、公立高校に3名、私立高校に2名進学しました。うち1名は高校在学時の家庭引き取りを目標に静岡市内の児童養護施設に措置変更となりましたが、中学3年生全員が高校進学を果たしました。近年は公立高校への進学率も上がっており、支援の成果と考えます。

静岡県の事業として、被虐待児および発達障害児への支援体制の充実を図る目的で「被虐待児等処遇向上モデル事業」が施設に事業委託されました（委託費用150万円）。ひまわり園では感情の自己コントロールを高めるための「ヨガ教室」、個別対応の時間を設けた「個別学習支援」、幼児の情緒の安定を図る「幼児の遊びを通じた情操教育」を実施しました。一年間の活動では簡単に成果が出るものではないので事業効果の評価は難しい点がありますが、26年度も継続委託されることになりました。（資料1.2）



【 広見公園 】



【 ヨガ教室 】

【重要事項報告】

新規入所児童数の減少は、厚生労働省の方針「家庭的養護の推進策」に沿った行政指導により里親委託が増加していることが一因であると考えられます。里親への委託率は、静岡県は25%、静岡市は40%（25年度静岡県子ども家課報告）で、全国の委託率（13%）を大きく上回っています。里親委託の多くは乳幼児であり、今後の児童養護施設への入所児童は、「高齢児」または「里親委託できない処遇困難児童」が増加するのではないかと予想されます。

25年度のひまわり園の「拠点区分事業活動計算書」によりますと、経常増減差額が「△5,720,868円」となっておりますが、幼児の入所の減少による「年少児加算分」（1人あたり月28,370円）、「2才児加算分」（1人あたり月133,620円）の収入減の影響が大きかったと考えられます。

【ひまわり園 過去5年間の新規入所児童数と入所経路】

	入所総数	家庭から	みどり園から	その他から
H21	19	14	3	2
H22	13	8	4	3
H23	13	7	3	3
H24	15	8	4	3
H25	3	2	0	1

厚生労働省は、先に述べた「家庭的養護の推進策」の一環として、児童養護施設の小規模化と地域化の推進方針を掲げており、全国に589カ所ある児童養護施設を平成41年までに全てを小規模化すると明言しています。

その概要としては、本体施設の定員を45名以下にしてユニットの小規模グループ化を図り、更に地域小規模児童養護施設、小規模グループケア、ファミリーホーム、里親委託を増やすことにより、子どもの生活単位をより家庭的なものにしていくというものです。平成26年度内には、都道府県においては「都道府県推進計画」、施設においては「家庭的養護推進計画」を策定しなければならないことになっています。ひまわり園でもこの件に関して25年度より検討を始めたところではありますが、既存の施設設備の構造変更と維持管理費用、小規模施設の新設、更には人材確保と育成、人件費、労働基準法への対応等の課題が山積しており、暗中模索の状態であります。

事故およびヒヤリハット報告（資料17）

- ① 事故報告数 8件（園内5年 園外3件）
 - 事故の内訳 転倒・衝突 4件 誤投薬 1件
 - 児童間の不注意による事故 2件
 - 職員の公用車による接触事故 1件
- ② ヒヤリハット報告数 1件

苦情および要望に関する報告（資料18）

- ① 報告数 7件
 - 内訳 ケアに関すること 3件
 - その他 4件（児童から1件 児童保護者から2件 近隣または学校から3件）

施設整備等

- ① 法人内の通話無料化に伴うケーブル敷設工事 320,300円
- ② グラウンドのネット補修工事 900,000円
- ③ 固定資産の廃棄
 - ・パソコン用プリンター1台

・デスクトップパソコン 2 台

基本目標 1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心して安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。(資料 4.5.19)

平成 25 年度 11 月に第三者評価を受審しました。ひまわり園の児童支援の取り組みに対する第三者による評価点、課題となる点を挙げていただくことにより、更なる目標を見いだすことができました。

児童のグループワークでは、心理職員による個別対応、性教育の学習会、暴力防止プログラム「セカンドステップ」を継続的に実施しました。

個別支援においては、数名の児童の対応に非常に苦慮しました。物事へのとらえ方が自己中心的で、施設や学校の決まりを受け入れられず、生活への不満や自己中心的な言動を咎められることに反発する児童、自己の欲求を自己統制できず万引きを繰り返す児童、目先の自由さや反社会的な行動に惹かれて無断外出等の問題行動を繰り返す児童など児童相談所や児童精神科医にも助言を仰ぎながら、勤務時間内外を問わず職員が苦悩の中で何日もかけて対応しても行動改善が見られず、子どもの権利を侵害しないように努力しながらも大変苦慮するケースもありました。

基本目標 2

生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。(資料 6.7.18)

児童会「ひまわりの種」の活動では、小学生は「礼拝に遅刻しない」という目標を定めて、改善のための話し合いを継続的に行い、また野菜の栽培などを行いました。中高生は掃除分担について話し合いました。職員も子どもたちの意見や要望を汲み上げ、日常生活に反映できるよう努めました。苦情・要望対応では施設内での情報公開を目標に掲げましたが、十分な対応ができず、次年度への課題となりました。

子どもたちの意見や要望を取り入れながら、年間を通じて様々な行事を実施しました。

基本目標 3

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。(資料 7.8)

ボーイスカウト活動には児童 17 名が参加し、年間を通じて奉仕活動やキャ

ンプなどの野外活動も実施しました。サッカースポーツ少年団活動は 12 名の児童がチーム登録して地域の大会に参加し、神戸招待サッカー大会では 5 年生の部で準優勝という成績を残しました。その他、地域防災訓練への中高生の参加、天王祭での御輿担ぎに小学生が参加するなどの交流を図りました。

子ども会活動ではドッジボール大会に参加して、高学年男子と低学年男女混合が、校区内で優勝し、中部ブロック大会に出場し、更に低学年男女混合は中央大会に出場しました。

静岡県児童福祉施設球技大会では、夏季のソフトボール大会で中高生は優勝とフェアプレイ賞、小学生は敢闘賞を受賞し、また冬季球技大会では中高生男子が優勝、小学生男子が準優勝とフェアプレイ賞、小学生女子、中高生女子が準優勝と素晴らしい成績を残すことができました。



【ボーイスカウト本栖湖キャンプ】



【子ども会ドッジボール大会】

基本目標 4

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。(資料 10)

(株)メディアベース様の協力を受け、高校生に対して年 6 回の就業セミナーを実施して、「企業が求める人材」「常識やマナー」等を学び、社会自立に向けて準備する機会を持ちました。富士市防犯協会の皆様には、花壇の整備や記念植樹などの「環境整備」、子どもたちの安全を守るための「防犯教室」、協会の方からの「職業講話」(看護、電気工事、保育、土木)などのご支援をいただき、また富士ロータリークラブのご協力で、病院と製紙会社の「職場体験」を実施するなど、多くの皆様のご協力を得ながら子どもたちの職業観を広げるための取り組みを行いました。

学習面においてはボランティア様の御支援を得る中で、学力の向上を目指しました。公立高校進学者が増加したことはこうした取り組みの成果といえます。

心理職員と担当職員の協働で「生い立ちの整理」への取り組みを始めました。家族と離れて施設で生活する子どもたちが今まで歩んできた道筋を子ども自身が再確認することで自尊心を養い、自分の人生を肯定的に捉え、未来に希望を

抱くことができるように支援していくことを目的としたアルバム作成の手順をマニュアル化する取り組みがなされました。

アフターケア対策マニュアル作成を 25 年度実施目標に掲げましたが、児童は就職、家庭引き取り、他施設への措置変更など様々な形で退所しており、支援の内容も多岐にわたるため、整理に時間がかかり、完成にたどり着くことができず、26 年度への引き続きの課題となりました。



【メディアベース就業セミナー】



【川村病院様 職場体験】



【富士防犯協会様 職業講話・記念植樹】



基本目標5

家族再統合のための保護者との関係強化および行政機関、里親、学校等との社会的養護の連携に努めます。(資料 9.10)

面会、一時帰省、帰宅訓練などを継続的に実施しました。しかし、保護者を取り巻く家族環境、生活環境への支援が社会的に不十分であり、また、保護者自身による生活改善も進まない中、家庭引き取りに向けた職員の努力もなかなか結実しませんでした。子どもが施設に入所している間にも離婚や逮捕など更に家庭状況が悪化したケースもありました。なかなか連絡が取れない保護者もあり、児童相談所に依頼をかけても情報につかめないケースがいくつもありました。

また、家庭引き取りが実現したケースでも、数年の間に再び問題が起き、担当職員が家庭訪問して何とか支えようと働きかけましたが、残念ながら再度保

護されるケースもあり、家族を支える地域支援の希薄さ、家族そのものの脆弱さを痛感しました。

小中学校とはそれぞれ年 2 回の連絡会を開催して子どもの情報、子どもの育ちの支援方針の共有に努めました。

富士児童相談所管内の里親会（ふじ虹の会）とは年 2 回の意見交換の場を設け、相互理解に努めると共に、新規の里親を認定するための認定前研修の実施、新規里親開拓と里親理解を深めるためのフォスターセッション（ふじ虹の会主催）にパネラーとして参加するなど協力しました。

基本目標 6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。（資料 11.12.13）

児童の健康診断や予防接種を計画に基づいて実施し、日常的な感染症対策や嘔吐処理シュミレーションを実施しました。しかし幼稚園や小中学校でのインフルエンザの流行により、入所児童も大きな影響を受けました。

避難訓練を毎月実施すると共に年 2 回の地域防災訓練にも積極的に参加しました。



【7 町内合同地域防災訓練に参加 吉原高校にて】

基本目標 7

芙蓉会の歴史と先人の教えを学び、職員の処遇技術の向上を目指した研修の充実と主体的取り組みの強化を図ります。また実習生の受入れを実施して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。（資料 14.15）

職員研修で理事長の体験談や芳賀牧師より吉原教会と芙蓉会のつながりについて講義を受けるなど、法人の理念について学びました。また、昨年同様に児童相談所心理司によるコミュニケーションスキル研修の実施、その他外部研修に職員を派遣して職員の専門性の向上に努めました。

児童養護施設の理解を深め、職員の後進育成のために学生の施設実習 30 名を受け入れました。



【コミュニケーションスキル研修】



【権利擁護研修】



【養成校との合同研修】



【関東ブロック事務職員研修】

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

平成 25 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成 25 年 4 月 1 日)、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成 25 年度は、中学生 3 名、高校生 2 名、専門学生の計 6 名（女子）でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持てるように努めました。

子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るように、児童会である「キンモクセイの会」と、子どもと職員の話し合いの場である「ひろみ会議」を月 1 回実施してきました。行事についても、この話し合いでの意見をもとに計画、実行致しました。

また地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。防災面においても、地域の防災訓練は児童と共に主体的に参加し、近隣住民の方々と、災害時の連携について話し合うなど、お互いに協力し合える関係の構築に努めました。

また児童福祉施設の小規模化、個別化が求められている中で、指導員保母の会での意見発表や、他施設の見学などの依頼がありましたので、積極的に受け入れていきました。そこでは地域小規模施設の現状や課題、ひろみが培ってきたノウハウを外に発信することが出来ました。



重要事項報告

昨年度末に高校を卒業した女子が 1 年間の措置延長を児童相談所から認められ、「植松茂子奨学基金」の援助を受けて介護福祉関係の専門学校に進学しました。ひろみで生活しながら、勉学とアルバイトを両立した生活を送ることが出来ました。アルバイトを頑張ったことである程度の貯金が出来て、本人の希望もあり、今年の 3 月に退所しました。

環境整備の面では、老朽化したキッチン周りを、楽天生命株式会社のご寄附を受けて新しくさせて頂きました。



キンモクセイの会（子ども会議）

施設設備

取得

流し台、調理台、ガスコンロ台	80,570円
既設撤去、新設設置工事	17,500円
消費税	4,762円
合計	<u>100,000円</u>



恩賜記念みどり園（定員 30 名）

事業概要報告

平成 25 年度は暫定定員 28 名で事業を実施いたしました。年度当初の在籍児童数は 20 名でしたが、里親委託された子ども達がいて、5 月中旬には一時保護児童を含め在籍児童が 16 名となり、年間を通じて在籍児童が 23 名を超えることはありませんでした。この結果、入所率は年間平均で 70%という結果になりました。これは、厚生労働省が推進している「家庭的養護」に関する施策、特に里親委託推進の影響が強く出てきていると考えられ、退所児童 11 名中 5 名の児童が特別養子縁組対象の里親家庭に委託されており、里親委託率は 45.4%と、前年の 19%から大幅に増加しました。このため家庭復帰率は 36.4%となり、前年を下回る結果となりました。 [資料 1 - (1)～(2)参照]

平成 26 年度も暫定定員での運営となりますが、県内の殆どの施設が暫定定員であり、静岡県の「家庭的養護推進計画」には、社会的養護に関する需要量や、供給量の見直しを行い、県内の乳幼児定員の削減を視野に入れた計画の策定が必要であるという認識を強めた年でした。

基本目標や実施目標に掲げた、愛着形成の促進による「よりよい関係作り」に関する取り組みは、ユニット制による養育や、0 歳児小規模グループケアの実施、日中一人の養育者がみる児童数を少しでも減らすという、養育単位の小規模化への取り組みの推進や、年度当初に急遽依頼を受けた、静岡県による被虐待児等処遇向上モデル事業を受託し、児童精神科医山崎知克医師に年 3 回の愛着行動評価の調査と、スーパービジョンを依頼した結果、対象児童の多くに気質的・環境的な障害の傾向があるという結論が出ました。それらの子どもを正常発達に近づけるための支援の方法や、発達障害を有する子ども達に有効な関わり方を学ぶ機会を得て、発達上課題を有する子ども達への支援の充実を心掛けました。モデル事業では他に、中村由実子講師による週 1 回のリトミックのセッション乳児と幼児の 2 グループで実施しました。この他にも、小池喜子さんの協力を得て週 1 回のプレイセラピーを再開するなど、子ども達の心の安定や、より一層の関係性の向上に努めました。

また、平成 24 年度より設置した第三者評価・自己評価委員会は、毎月 1 回委員会を開催し、園内の現状を確認し、運営面や業務内容について、改善に向けた計画を作製しました。

第三者評価も 11 月に受審し、評価機関からの評価結果と、園で作製した改善計画を基に、より子ども主導の養育を目指して課題克服への取り組みを進めてまいりました。

重要事項報告

(1) 感染症について

平成 25 年 10 月 1 日から 10 月 15 日にかけて、手足口病に 7 ヶ月～3 歳の児童 15 名が感染しました。また、10 月 2 日から 10 月 7 日にかけて 1 歳 3 ヶ月から 2 歳の児童 3 名がヘルパンギーナに感染したため、感染症対策を実施して経過通院を行い、10 月 9 日には静岡県富士健康福祉センターへの報告を行いました。

感染症対策を実施していた平成 25 年 10 月 19 日、6 ヶ月の女児の便性が緩くなり、土曜日の午後でしたが病院が休みになる前に通院した所、ロタウィルスの簡易検査で擬陽性であるという診断を受け、隔離と、感染症対策を手足口病とヘルパンギーナに対するものから、ロタウィルスに対応する感染対策に切り替えをおこないました。富士健康福祉センターには 10 月 21 日に報告を行い、感染症対策を徹底しロタウィルスの拡大感染を防ぐことができました。

同時期に 3 種類の感染症が園内に入ったことと、インフルエンザやノロウィルスによる感染性胃腸炎や、首都圏や沼津市に麻疹が流行しているという情報を得たため、感染児の隔離等の感染症対策は平成 25 年 11 月 21 日に一部解除しましたが、哺乳瓶や衣類等の消毒や、職員のマスク着用等の対策に関しては、年度を超えた平成 26 年 4 月まで実施していたためか、他の感染症の園内侵入を防ぐことができました。

[資料 2-(3) 参照]

(2) 静岡県による「被虐待児等処遇向上モデル事業」について

平成 25 年 3 月末に打診された「被虐待児等処遇向上モデル事業」について、5 月に入り静岡県より正式に依頼があり、静岡県乳児院協議会の 4 施設の共同事業として受託することとなりました。

事業の内容は共通事業として、児童精神科医師山崎知克氏（子どもの心の診療所々長）による、静岡県下 4 施設の乳児院入所児童の愛着行動評価及び、対象児童への支援に関する助言等のスーパービジョンを実施して貰い、それを基に日常の養育支援を構築する事を目的とした事業と、各施設独自に関係性の向上を図る取り組みを行う 2 本立ての事業となり、当園では愛着形成ができにくく、特別な支援が必要な幼児に対して、心と身体的一致・調和を促すとされているリトミックを選択し、リトミックを通じて子ども達の自己実現の空間を提供したり、担当職員と一緒にリトミックを体験することで担当職員との愛着形成の促進を計ると共に、担当職員がリトミックを覚えることで日常の支援の中に少しでも個別プログラムが取り込めるようにと考え、事業を進めてまいりました。

この結果山崎知克医師の愛着関連行動評価を 3 回実施し、発達上に課題を有する児童の診察や及び今後の支援に関するスーパービジョンを 3 回受けることができました。

リトミックに関しては、40 分のセッションを乳児グループ 40 回・幼児グループ 41 回受けることができました。平成 26 年度も継続してこれらの事業が実施できる事に期待をしております

(3) 法人内電話回線整備

みどり園の電話回線は、ひまわり園を改築した平成7年に法人内一括で整備したもので、設置から18年の年月が経過し、老朽化した構内電話交換機(PBX)のため、使用できない内線電話が増えたことや、法人内の高齢者施設とは内線での通話回線が無く、有料通話となっていたことから、電話回線等の整備を行い、新たにビジネスホンを導入し、法人内電話回線の整備を実施しました。ビジネスホン等の電話機の本体や構内交換機はリース契約を行い、みどり園に関する構内配線工事で198,800円の支出を行いました。これにより法人内の施設間の外線通話は無料となりました。

施設整備等

(1) 固定資産計上取得物品等

- ①手指消毒器・うがい器 各3台(ナースプール・1階トイレ・厨房)

(2) 固定資産廃棄・移管物品等

- ①ナビゲーションシステム(キャラバン搭載) 1円(残存価格)
②トリムイオン浄水器(給湯室設置) 1円(残存価格)
③液晶テレビ(1階プレイルーム設置) 1円(残存価格)

(3) 修繕工事等 (30万円以上を記載)

- ①2階プレイルーム床張替、厨房・実習生室畳張替 336,000円
②1階プレイルーム電気配線等修理 339,150円
③オムツ交換室給水修理 348,600円
④館内老朽化電気配線・スイッチ取替工事 393,750円
⑤砂場枠・砂交換修理 500,000円
⑥1階プレイルームエアコン取替工事 525,000円
⑦1階お風呂場換気扇・タイル・シャワー修理 951,300円

施設整備記録写真

- ①手指消毒器・うがい器の設置



1階 大人用トイレ手指消毒器・うがい器



厨房設置 手指消毒器・うがい器

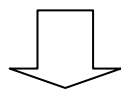


②芝生園庭砂場枠・砂取替工事

取替前



取替後



③2階プレイルーム床張替工事



④1階お風呂場の修理工事



基本目標1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りへの取り組みを心がけ、健康に留意し、心身の発達支援を行う

平成25年度は、0歳児の小規模グループケアに加え、高齢児の発達上の課題を有すると思われる児童に関しても、対象児を4～6名と設定し、2つの小規模グループケアを実施しました。しかし、複数の通院児童がでた時や、感染症の発症で隔離等の対応を実施しなければならない時などは、通院引率や、隔離対応に職員の手を取られてしまい6名のグループを1名の職員で見る事も多く、時には1グループしか小規模グループケアの実施ができないこともあり、小規模グループを増やしての運営の難しさを感じた1年でした。

また、静岡県より受託した、「被虐待児処遇向上モデル事業」で行った、山崎知克医師の愛着関連行動評価とそれに伴う診察では、静岡県内の乳児院入所児童の72.9%に気質的要因によるASD（自閉症スペクトラム症候群）や、出生後の劣悪な環境によるRAD（環境要因による：アタッチメント障害）等の問題を持つという驚くべき診断結果が出ました。当園でも対象児童16名中、12名に問題が指摘され、年度当初に家庭にも帰れずに、里親対象でも委託されない、児童養護施設への措置変更もできない子ども達の現状が再認識することが出来ました。山崎医師の提案で実施した「ビデオカンファレンス」を受け、子ども達の気になる行動についての有効な関わり方を、学ぶ貴重な機会が得られました。一方リトミックでは、週1回40分ずつ、乳児と幼児の2グループに分けたセッション年間延べ81回実施することで、子ども達の表現力の助長や、関係性の向上等、支援の機会を設けました。

また、乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症が全国の乳児院で増えていることから、乳児無呼吸モニターや15分ごとの安否確認を行って対応をしていますが、嘱託医である飯泉哲哉医師の協力を得て、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する勉強会を実施し、ハイリスク児に対する支援や対応について学ぶ機会を設けました。

1. 人工呼吸器「118救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。
2. 小児精神科医によるスーパーセッション・「ビデオカンファレンス」等を3回受けました。
3. 嘱託医による「乳幼児突然死症候群 SIDS」に関する勉強会を実施しました。
4. 新規採用職員を対象にテーマを定め、「新任研修会を」開催いたしました。
5. 重度の障害児に先駆的支援を行っている「つばさ静岡」で視察研修をしました。

[資料7-(5)参照]

基本目標2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底し、より一層充実した支援を心掛ける

全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を月例会やケース会議の前に唱和する事で、定期的に職員が確認する機会を設けました。全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」の内容を反映させた、みどり園の行動指針を定め、管理規定の巻末に表記し、自らの行動を振り返られるようにしました。

新規採用職員には新任研修会を定期的に行い、子ども達の権利擁護や職員に心構え、就業規則などの説明に加え、法人創立者や戸巻俊一前理事長の思想等、法人創立について学ぶ機会を設けました。

第三者評価につきましては、有限会社セリオコーポレーションを評価機関として契約を交わし、平成25年11月25日～11月26日に訪問調査を行い、受審をすることが出来ました。園内には第三者評価・自主評価委員会設置し、毎月1回委員会を開催して園内の現状の評価をした「自己評価」の作製を行うと共に、課題に対する改善案や、改善に向けた取り組み・改善計画の作製を行い、乳幼児の養育環境の充実や、運営に関する職場環境の整備に努めました。

基本目標3

児童の健康に関する処遇の見直しを行い、感染症等に対する取り組みの強化を行う

本年度も季節性インフルエンザの予防接種は接種可能な6ヶ月以上の入所児童全員に実施しました。職員も26名の職員が接種しました。

また、平成23年度より、ヘモフィルス・インフルエンザB型による細菌性髄膜炎や咽頭蓋炎・肺炎等を予防するヒブワクチンを延べ29名の乳幼児に、肺炎球菌による細菌性髄膜炎・菌血症・副鼻腔炎・中耳炎等を予防する小児肺炎球菌ワクチンも延べ32名の乳幼児に接種することができました。この他、首都圏や静岡県東部地区で流行が確認されている「麻疹」に対して有効とされているMRワクチンや、ポリオやBCG、三種混合等の必要な予防接種を含めると年間延べ172件となりました。

感染症に関しては、富士市の感染症の発生状況の情報収集を行っておりましたが、10月中のほぼ同じ時期に、手足口病・ヘルパンギーナ・ロタウイルス感染症の3種類の感染症が発症いたしました。手足口病は15名の感染者を出しましたが、ヘルパンギーナとロタウイルス感染症に関しては、隔離や消毒等の対策の徹底から最小限に留めることができたと考えられます。また、入院する児童も2名と少なく、入院率も過去10年で一番低い数値をしており、ハイリスク児を養育している乳児院では、病気と障害に関しては「早期発見・早期治療」を日常的に心掛けている職員の努力や、協力の表れであると考えます。

[資料2-(3)参照]

最後に、夜間の緊急時の対応について「宿直者」の配置を計画しておりましたが、入所児童の減少と、体調を崩す職員の増加等の理由から本年度は実施できませんでした。みどり園の「家庭的養護推進計画」の作製に合わせて継続課題として検討していきたいと思っております。

資料1 平成25年度入所実績表・入退所理由別表

(1)平成25年度入所実績表

暫定定員 28名

区分 月別	性別	実人員			初日 充足率	一時保護	途中入退所			総計	総充足率	
		男子	女子	計	初日 在籍 延べ数	%	延人数	延人数	内訳		%	
									男子			女子
平成25年	4月	11	9	20	600	67%	30	-29	-29	0	601	67%
	5月	10	9	19	589	63%	31	-62	-32	-30	558	60%
	6月	7	8	15	450	50%	93	0	0	0	543	60%
	7月	7	8	15	465	50%	97	74	44	30	636	68%
	8月	9	9	18	558	60%	67	0	0	0	625	67%
	9月	9	10	19	570	63%	79	18	0	18	667	74%
	10月	9	12	21	651	70%	83	0	0	0	734	79%
	11月	9	12	21	630	70%	39	21	0	21	690	77%
	12月	9	14	23	713	77%	0	-12	0	-12	701	75%
平成26年	1月	9	13	22	682	73%	0	-5	-5	0	677	73%
	2月	8	13	21	588	70%	12	1	-8	9	601	72%
	3月	7	13	20	620	67%	35	0	0	0	655	70%
	計	104	130	234			566	6	-30	36	7,688	70%

(注) 表中の充足率は暫定定員ではなく、**定員30名で計算**したものです。

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

暫定定員算式 入所児童のみ $7,122 \div 30.4 \text{日} \div 12 \text{月} \times 1.11 (90\%) = 21.67$

一時保護含む $7,688 \div 30.4 \text{日} \div 12 \text{月} \times 1.11 (90\%) = 23.39$

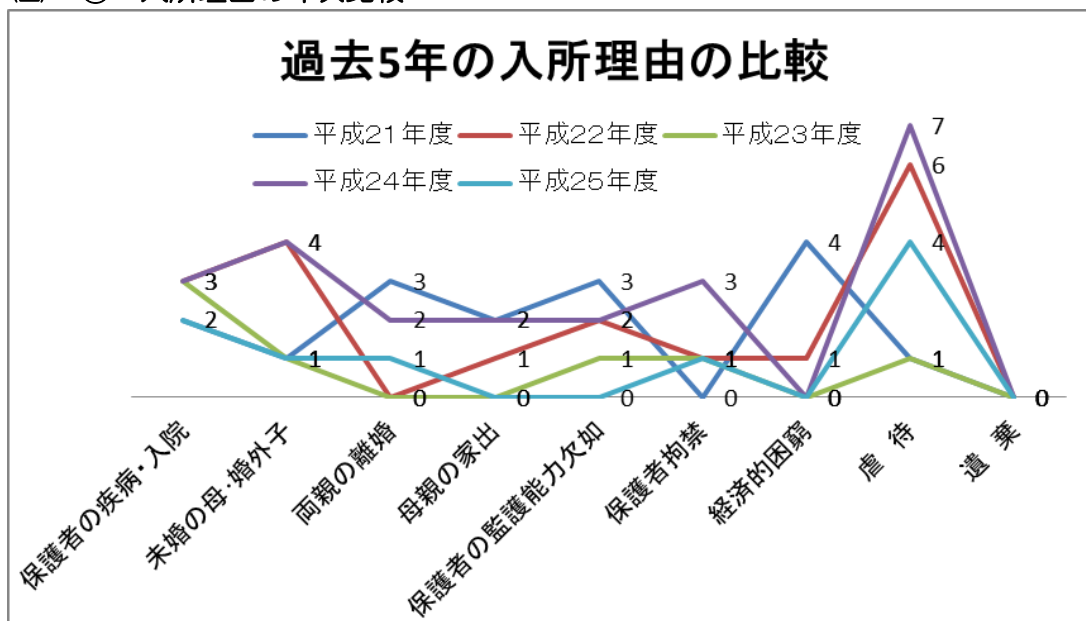
※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものである

(2)平成25年度 入退所理由別表

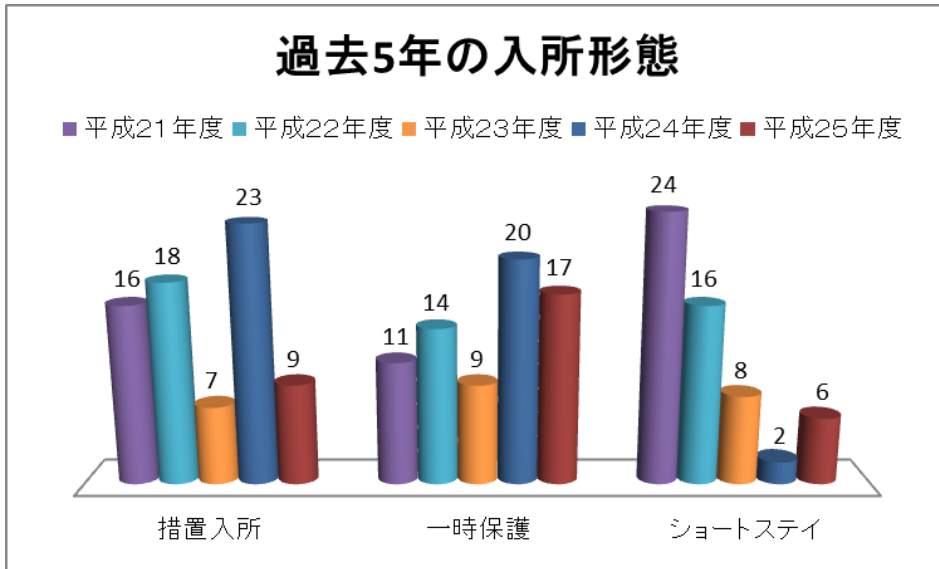
入 所 理 由	人数	退 所 理 由	人数
1.養育困難	5	1.家庭引取	4
(1) 保護者の疾病・入院	(2)	2.里親委託	5
(2) 未婚の母・婚外子	(1)	3.他施設に措置変更 内訳	1
(3) 両親離婚	(1)		
(4) 母の家出	()		
(5) 保護者の看護能力欠如	()		
(6) 保護者拘禁	(1)		
(7) 経済的困窮	()	(1) 児童養護施設	()
		(2) ファミリーホーム	(1)
		(3) 他の乳児院	()
2. 虐 待	4	1. その他	1
		一時保護への変更	
3. 遺 棄	0		
合 計	9	合 計	11
4. 一時保護 (措置入所への切替6名含)	16	一時保護 解除(退所) (家庭引取6・他施設変更3)	10

*注1. 表中(1)～(2)の人数は入所・退所理由の細目内訳です。*注2. 入所理由は新規入所の人数

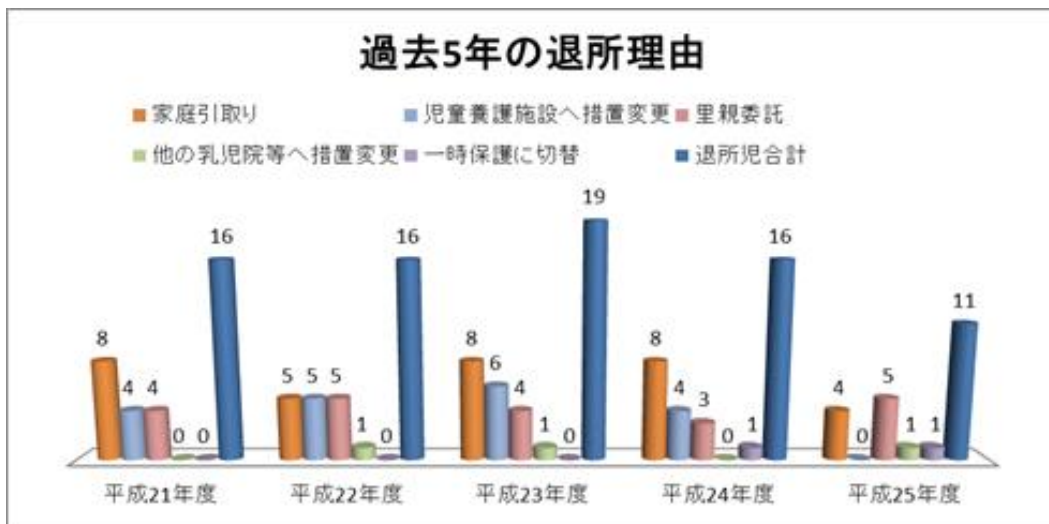
(2)ー① 入所理由の年次比較



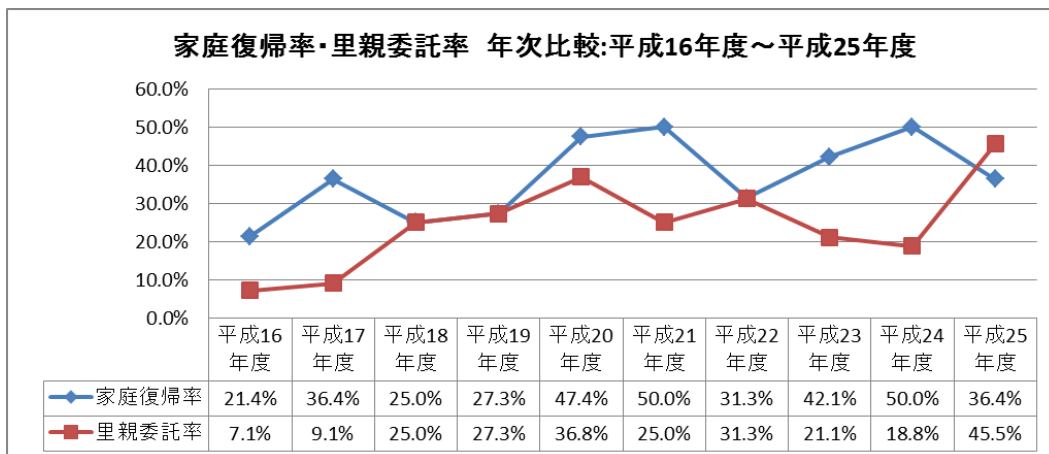
(2)一② 入所形態の年次比較



(2)一③ 退所理由年次比較



(2)一④ 家庭復帰率・里親委託率年次比較



(3) 平成25年度子育て短期支援事業（ショートステイ）利用状況

年 齢	富 士 市		沼 津 市	
	利用人数	利用日数	利用人数	利用日数
2歳未満	6人	37日	0人	0日
2歳以上	3人	3日	0人	0日
合 計	9人	40日	0人	0日
母 親	0人	0日	—	—

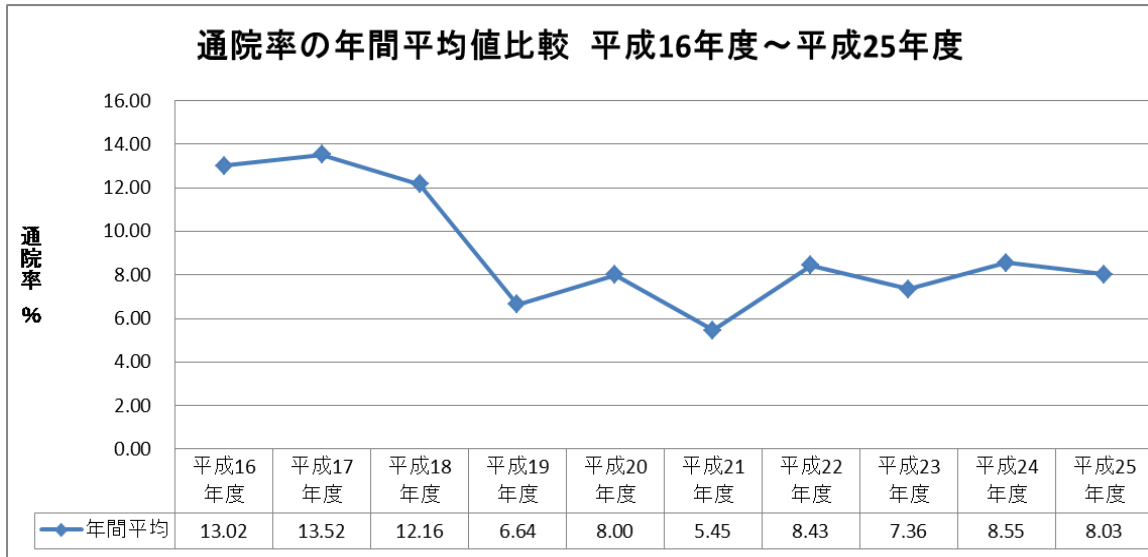
資料2 平成24年度疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診数855件

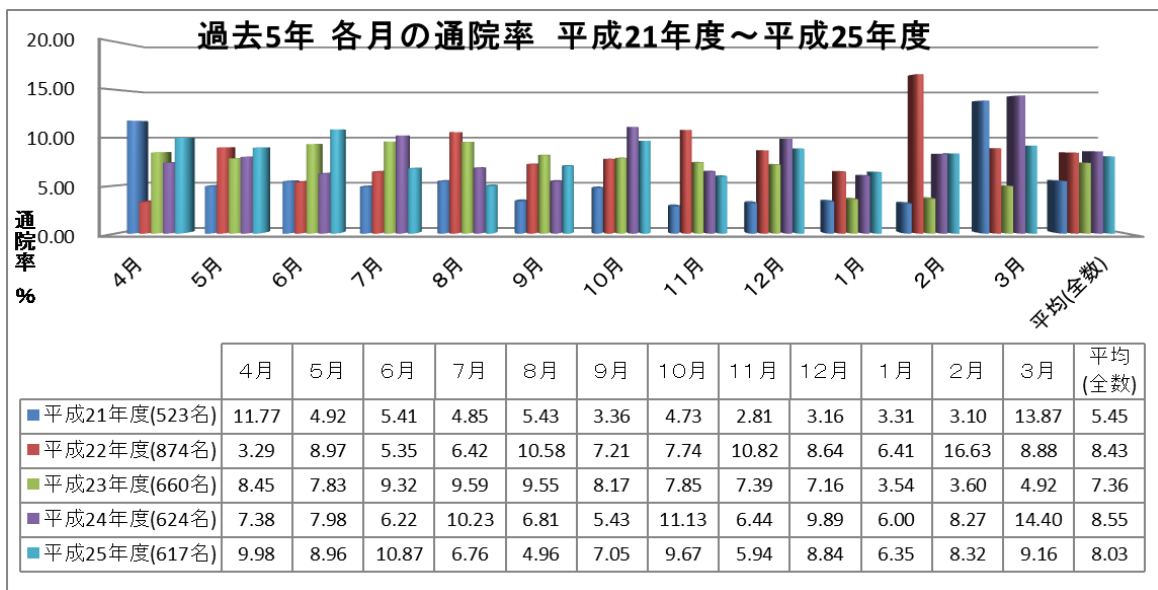
①平成25年度月別通院児童数

通 院 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
いずみファミリークリニック	37	12	42	22	12	19	49	9	12	8	23	39	284
小川内科小児科医院	2	2		2		2	5		2		1		16
かみで耳鼻咽喉科	9	25	10	9	7	2		19	33	29	15	15	173
月岡医院	2				1	11	6	1					21
善得クリニック	1								2				3
小森眼科クリニック		1			1	2		3	2	2	4	2	17
石原クリニック				2									2
片岡歯科医院		4	1	1	2	2						1	11
渡辺クリニック					2								2
前田整形外科医院									1		1		2
島田市立病院						1							1
富士市立中央病院													
（脳神経外科）													0
（整形外科）													0
（小児科）	4	2				2	3	4	2		4		21
（形成外科）							1						1
（耳鼻科）													0
（救急外来）													0
県立こども病院													
（整形外科）	1									1		1	3
（神経内科）			1	1	1		1	1	3				8
（総合診療科）							1	1	1		1		4
（心療内科）								1	1				2
聖隷富士病院	1									1			2
浜松医科大学病院		1	1	1		1				1			5
静岡医療福祉センター													0
富士宮市立病院					1							2	3
富士市立救急医療センター			1	1	1	2	5		2		1		13
富士市立こども療育センター	3	3	3	4	3	3		2	1	1			23
通院数合計①	60	50	59	43	31	47	71	41	62	43	50	60	617

①-1 過去10年間の通院率比較（年間平均値の比較）



①-2. 過去5年の月別通院率



① 平成25年度 月別健康診断受診数

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3歳児検診							1	2					3
1歳-1歳半検診	2					1			2	3		1	9
6-10ヶ月健診	2	1		3		1		2		1			10
3-4ヶ月健診		1		1					1	1			4
1-2ヶ月検診	1						1					1	3
生後1週間健診													0
歯科検診(片岡歯科医院)												20	20
入所時健診				1	2	1							4
退所時健診(囁託医)	1	2	1	2	1				1	1	2	2	13
健康診断合計②	6	4	1	7	3	3	2	4	4	6	2	24	66

② 平成25年度 月別予防接種受診数

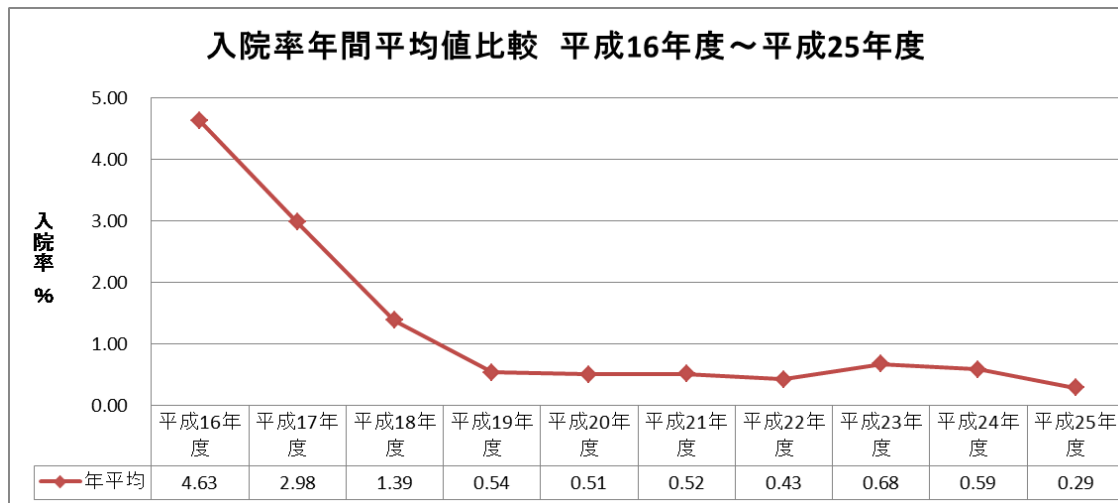
予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K-2シロップ													0
ポリオ	2	3	3	1							1	1	11
MRワクチン		2		2		1			1			4	10
BCG					3			1				1	5
日本脳炎											2	2	4
三種混合1～3回+追加	2	2	2	1	1						1	1	10
四種混合1～3回	5	1	2	4		1			1	1	7	2	24
インフルエンザ							18	21	2				41
シナジス(RSウイルス)							1	1	3			1	6
ヒブワクチン	8	4	2	4	1	1			1		7	1	29
小児肺炎球菌ワクチン	9	5	2	6	2	1			1		4	2	32
その他													0
予防接種合計③	26	17	11	18	7	4	19	23	9	1	22	15	172
総計 ①+②+③	92	71	71	68	41	54	92	68	75	50	74	99	855

④平成25年度入院児童数

入院児童数 2名 ・ 延べ入院日数 21日

1. Y.U(女) 入院 2013年 9月24日～退院 9月30日(富士市立中央病院):病名:肺炎 7日
2. M.Y(女)入院 2013年11月15日～退院11月29日(富士市立中央病院):病名:皮膚膿瘍 15日

④-1. 過去10年間の入院率比較



(2) 定期健康診断

①入所児童定期健康診断

内科検診(年2回): 嘱託医: 飯泉哲哉医師

実施日: 1回目: 平成25年9月13日 ・ 2回目: 平成26年3月7日

歯科検診(年1回): 片岡歯科医院: 片岡俊夫医師

実施日: 平成26年3月12日

②職員定期健康診断（新富士病院）

1回目：平成25年9月10日・9月13日・9月18日

2回目：平成26年2月4日・2月7日・2月11日

（3）感染症の記録

①手足口病

感染者数：15名（児童15名・年齢：7ヶ月～3歳）

感染確認：平成25年10月1日～平成25年10月15日

富士健康福祉センター報告：平成25年10月9日～10月21日

拡大感染防止対策施工期間

平成25年10月1日～平成25年11月21日（一部解除）

※最終解除：平成26年4月15日（インフルエンザ・麻疹等流行のため）

②ヘルパンギーナ

感染者数：3名（児童3名・年齢：1歳3ヶ月～2歳）

感染確認：平成25年10月2日～平成25年10月7日

富士健康福祉センター報告：平成25年10月9日～10月21日

拡大感染防止対策施工期間

平成25年10月2日～平成25年11月21日（一部解除）

※最終解除：平成26年4月15日（インフルエンザ・麻疹等流行のため）

③ロタウィルス胃腸炎

感染者数：1名（児童1名 年齢：6カ月）

感染確認：平成25年10月19日

富士健康福祉センター報告：平成25年10月21日～11月7日

拡大感染防止対策施工期間

平成25年10月19日～平成25年11月21日（一部解除）

※最終解除：平成26年4月15日（インフルエンザ・麻疹等流行のため）

(4) 事故記録等

①事故の記録 総事故数 32件 (対象児童32名) 通院児童 4名

(内訳)

- (1)はさみこみ 6件 通院 3件 (出入口扉、網戸、自動ドア等に指を挟む)
- (2)衝突・転倒 15件 通院 1件 (足を滑らせる、他児と衝突、怒って自ら転倒等)
- (3)誤食 4件 通院 0件 (離乳食の取り違い、卵除去食児に卵料理を与える)
- (4)誤投薬 4件 医師相談 1件 (薬を悪戯して飲んでしまう、配薬日の間違い等)
- (5)不投薬 2件 医師相談 0件 (配薬不足、配薬忘れ)
- (6)その他 1件 通院 0件 (湯温を計らず 42度の湯に入浴させる)

②児童間の事故 噛みつき報告 総報告数15件

③インシデントレポート (ヒヤリハット) 総数 2件

(内訳) 高齢児の探索行動への認識不足 1件 : 午睡時間の子どもの見失い 1件

資料3 平成25年度 園外保育実施実績

平成25年度は、0歳児の入所が多く、0歳児の養育や、小規模グループケアの実施で、人手を要しましたが、高齢児を対象に1泊2日の宿泊保育と、いちご狩りを目的にした園外保育に、担当養育者1対1で出掛けることができました。宿泊保育では1対1で大きなお風呂に入ったり、まかいの牧場での一時的に養育者と一緒に満喫してきました。

園内の生活でも養育担当者と個別に接する機会や、小グループによる行動を奨励し、園庭の芝生や、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

(1)園外保育の実施状況

園外保育 (遠足)

平成25年 9月24日～25日 (宿泊) ぐりんぱ、休暇村富士、まかいの牧場

平成26年 3月24日 いちご狩り、岩本山公園



食育と日除けをかねたメロン栽培は今年も大成功でした。

(2) 誕生会・お楽しみ会

- ①誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ②楽しみ会（月1回）…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。

資料4 平成25年度 お楽しみ会献立及び、年間給食数 (単位：人)

月	月 日	行事食献立	年間延人員、給食数	
			延在籍児数	延食数
4	4月16日	鮭おにぎり、わかめおにぎり、から揚げ、たこウインナー、卵焼き、ポテトサラダ、トマト、イチゴ、麦茶	602	1,780
5	5月21日	サンドイッチ、おにぎり、チューリップ揚げ、枝豆入りポテトサラダ、ミニトマト、野菜ジュース、たい焼き	541	1,520
6	6月18日	おにぎり、コロッケ、メンチカツ、卵焼き、ツナサラダ、ミニトマト、野菜ジュース、プリンアラモード	550	1,635
7	7月19日	なすのぶっかけそうめん、アンパンマンホットケーキ、野菜ジュース、スイカ	633	1,887
8	8月19日	そうめん(ハム・きゅうり・トマト・卵)、天ぷら、枝豆ポテトサラダ、フルーツ寒天、野菜ジュース	641	1,859
9	9月24、25日	お泊り保育	686	1,948
10	10月18日	炊き込みご飯のおにぎり、チューリップ揚げ、卵焼き、かぼちゃサラダ、ゼリー、りんごジュース、おやつ：スイートポテト	731	2,192
11	11月22日	おにぎり、きのこグラタン、野菜スープ、フルーツポンチ	690	2,044
12	12月20日	鶏の丸焼き、オムライス、チューリップ、ミニトマト、フロッコリー、ポテトフライ、枝豆ポテトサラダ、かぼちゃのスープ、クリスマスケーキ	701	2,060
1	1月23日	ちらし寿司、天ぷら、かぼちゃのサラダ、すまし汁、イチゴ	677	2,004
2	2月3日	恵方巻き、ホクホクじゃがいもコロッケ、ほうれん草のごま和え、ヨーグルトのフルーツ和え、すまし汁、麦茶	609	1,789
3	3月24日	園外保育	650	1,973
年間延べ人数・延べ給食数			7,771	22,691



クリスマス献立
H25.12.20



資料5平成25年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練（夜間想定訓練1回） ※消火訓練は毎月実施した。

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成25年4月9日(火)	9:25~	児童21名・職員8名	
2	平成25年6月12日(水)	9:00~	児童19名・職員8名	
3	平成26年1月9日(木)	16:20~	児童21名・職員9名	
4	平成26年2月13日(木)	8:53~	児童20名・職員2名+5名(オザバ)	夜間想定
5	平成26年3月13日(木)	8:50~	児童20名・職員2名+6名(オザバ)	夜間想定

(2)火災想定避難訓練（夜間想定訓練1回） ※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成25年5月8日(水)	9:05~	児童12名・職員2名+5名(オザバ)	夜間想定
2	平成25年7月10日(水)	15:15~	児童18名・職員2名+4名(オザバ)	夜間想定
3	平成25年9月11日(水)	15:30~	児童16名・職員2名+6名(オザバ)	夜間想定
4	平成25年10月10日(木)	9:10~	児童15名・職員10名	
3	平成25年12月12日(木)	9:00~	児童22名・職員2名+6名(オザバ)	夜間想定

(3)総合防災訓練（訓練回数4回）

	実施日	実施時間	内容・参加人員等	備考
1	平成25年8月29日(木)	9:02~ 14:30	児童20名・職員25名 避難訓練・消火訓練・設営・炊出し等	
2	平成25年9月1日(日)	8:30~ 9:45	地区防災訓練に職員2名を派遣。 避難訓練・消火訓練等	※富士地区 総合防災訓練
3	平成25年11月1日(月)	9:00~ 12:30	児童19名・職員13名 避難訓練・消火訓練・設営・炊出し等	
4	平成25年12月1日(日)	8:30~ 11:30	地区防災訓練に職員2名を派遣。 避難所設営体験訓練	※富士地区 総合防災訓練

(4)通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練（実施回数1回・法人9回）

	実施日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備考
1	平成25年8月29日(木)	11:30~	みどり園職員を対象とした通報訓練	安否コール
2	平成25年 5/7・6/21・8/9 10/1・11/1・12/2 平成26年 1/8・2/10・3/3	夜間は 2回 実施	災害安否コールシステムを使用した通報 ・安否確認訓練（全職員）	※法人全職 員対象

(5)防災用備品の点検・整備等（実施回数1回）

	実施日	実施時間	内容	備考
1	平成26年3月25日(水)	9:00~	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	

資料6 平成25年度保守点検実施表

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電気工作物	関東電気保安協会	H25.4.19	年6回
		H25.6.21	
		H25.8.20	
		H25.10.3	
		H25.12.11	
		H26.2.19	
消防設備	サンコー防災 (消防用設備点検)	H25.5.29	年2回
		H25.10.30	
	富士消防用品商会 (消火器点検)	H25.5.27	年2回
		H25.11.5	
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	H25.5.31	年2回
		H25.11.5・11.29	
園舎 殺菌消毒		H25.5.14	年2回
		H25.11.2	
防鼠点検 厨房・食堂	(株)大富士ダスターミック	H25.4.12	毎月
		H25.5.14	
		H25.6.14	
		H25.7.5	
		H25.8.2	
		H25.9.6	
		H25.10.25	
		H25.11.16	
		H25.12.20	
		H26.1.24	
		H26.2.21	
		H26.3.20	
園舎ダスター殺虫施工	(株)大富士ダスターミック	H25.5.14	年2回
		H25.11.31	

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電解水生成システム	(株)アオノ テックコーポレーション	H25.5.16・5.28	必要に応じて
		H25.7.31	
		H25.11.15	
布団乾燥機	Mana mana	H25.7.16	年2回
		H26.1.31	
貯水槽清掃	ニッケン消毒(株)	H26.3.15	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	H25.11.12	年1回
昇降機リフト	大村リフトサービス	H26.1.21	年1回
建築設備等定期検査	王子不動産(株)	H25.10.29	年1回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム(株)	必要に応じて	
事務機器	(株)Net		
	(株)ティーケーシステム		

資料7 平成25年度 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数48名(開催28回):法人内研修会等参加人数157名(開催19回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等の県外研修会

①研修会等 参加人数 16名(7回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成25年 6月6～7日	第48回関東ブロック乳児院研究協議会	新潟県:長岡グランドホテル	3名
7月10日～12日	第57回全国乳児院研修会	茨城県:水戸京成ホテル	2名
9月5日～6日	平成25年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	東京都:全社協灘尾ホール	1名
10月31日～ 11月1日	第63回全国乳児院協議会	愛知県:刈谷名古屋	2名
11月11日～12日	第26回日本福祉施設士会関東甲信越ブロックセミナー	静岡県:ホテルファミリー静岡	4名
11月14日～15日	第31回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	山梨県:甲府富士屋ホテル	3名
11月17日	11thこどもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	東京都:星陵会館	1名

(2) 静岡県乳児院協議会・東京都社会福祉協議会乳児部会等の業界研修会

①業界研修会等 参加人数 15名 (10回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成25年 4月24日	静岡県乳協家庭支援・個別対応研修会	みどり園	3名
4月29日	テラ・プレイ遊戯療法公開講座	ウィル愛知	1名
5月3日~6日	テラ・プレイ遊戯療法 専門講座	ウィル愛知	1名
5月10日	東京都社会福祉協議会乳児部会新任研修会	東京都：研究社英語センター	1名
5月15日	静岡県乳児院協議会 養育研修会	静岡恵明学園	2名
9月18日	静岡県乳児院協議会 栄養・調理研修会	静岡恵明学園	2名
11月16日	児童虐待防止静岡のつどい	もくせい会館	2名
11月28日	静岡県乳児院協議会 看護研修会	浜松乳児院	1名
平成26年 1月22日	静岡県乳児院協議会 事務研修会	静岡乳児院	1名
2月19日	静岡県乳児院協議会 代表者会議	静岡乳児院	1名

(3) 静岡県社会福祉協議会等の県内研修会

①研修会 参加人数 16名 (10回)

年月日	研修会テーマ等	場所	参加人数
平成25年 5月24日	給食協会富士支部総会・講演会	ロゼシアター	1名
6月6日	給食協会富士支部 衛生講習会	ラ・ホール富士	1名
6月11日	平成25年度県指保の会新任職員研修会	静岡県総合福祉会館	3名
7月9日	県社協主催福祉職のためのリフレッシュ講座	静岡県総合福祉会館	2名
7月16日	県社協主催 接遇・マナー講座	静岡県総合福祉会館	2名
7月31日	県社協主催 経理事務応用講座1	グランシップ	1名
8月6日	県社協主催 経理事務応用講座2	静岡県総合福祉会館	1名
9月28日	子ども虐待対応・医学診断研修会	静岡県医師会館	2名
10月30日	社会福祉施設等における感染症予防対策講座	静岡県富士総合庁舎	1名
11月13日	子ども虐待対応・医学診断研修会Ⅱ	静岡県医師会館	2名

②資格取得・養成講座等 参加人員 1名 (資格取得者 1名)

年月日	研修会テーマ等	場所	参加人数
平成25年 .9/14~9/16	応急手当普及員養成講習会	富士市消防庁舎	1名

(5) 法人内研修会・園独自研修会等

①法人研修会等 20名 (4回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成25年 4月17日	法人 新規採用職員研修会	みぎわ園地域交流室	6名
10月21日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	5名
11月6日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	5名
12月5日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	4名

②みどり園独自研修会等 137名 (15回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成25年 4月1日	新任職員研修会「乳児院について」	会議室	9名
5月20日	新任職員研修会「就業規則等について」	会議室	9名
6月27日	みどり園 118 救急救命講習会	2階プレイルーム	9名
7月17日	新任職員研修会「法人の歴史について」	会議室	9名
7月20日	県モデル事業 山崎知克医師カーソファルス	会議室他	12名
9月1日	新任職員研修会「防災/避難体制」	園庭	7名
9月7日	県モデル事業山崎知克医師 ビデオカーソファルス	会議室	14名
9月13日	嘱託医との勉強会「乳幼児突然死症候群(SIDS)」	会議室	16名
10月3日	先駆的施設視察研修1班「つばさ静岡」	つばさ静岡	8名
10月25日	先駆的施設視察研修2班「つばさ静岡」	つばさ静岡	7名
11月18日	先駆的施設視察研修3班「つばさ静岡」	つばさ静岡	6名
11月23日	県モデル事業山崎知克医師 ビデオカーソファルス	会議室	14名
11月29日	先駆的施設視察研修4班「つばさ静岡」	つばさ静岡	6名
平成26年 1月15日	新任職員研修会「職務内容の確認①」	会議室	8名
3月19日	新任職員研修会「職務内容の確認②」	会議室	9名

資料 8 平成25年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (7校 15名 延べ 168日)

学 校 名	人 員	指定日数	実 習 期 間	延日数
和泉短期大学	2名	12日	5月13日～ 5月25日	24日
富士常葉大学	2名	11日	5月26日～ 6月 9日	22日
	2名		8月 5日～ 8月16日	22日
	2名		8月19日～ 8月30日	22日
鎌倉女子大学	2名	11日	9月 2日～ 8月21日	22日
浜松学院短期大学	1名	11日	9月16日～ 9月27日	11日
淑徳大学	1名	13日	9月16日～ 9月29日	13日
静岡福祉医療専門学校	1名	10日	10月 1日～ 10月11日	10日
常葉短期大学	2名	11日	10月15日～ 10月26日	22日
合 計	15名			168日

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 244件 (面会・外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 116件
3. 里親研修 0件
4. 教員体験実習 0件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

(1) ボランティア受け入れ実績 総数 104名 (2団体+個人3名)

1. 虐待予防センター 5回 10名
2. 吉原第二中学校ボランティア 毎週土曜日 年間延べ 70名
3. 富士宮東高校生ボランティア 8回 15名
4. その他のボランティア 9回 9名

資料 10 家庭支援事業について

(1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所（処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る）、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数 544 件

(内訳)

保護者・里親の面会等個別対応	: 320件
医療・療育機関と調整	: 17件
他施設への移行準備、施設訪問等	: 10件
児童相談所・関係機関との調整	: 197件

(2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数 36 件

(内訳)

保護者・里親の電話相談・病院付添等	: 32件
児童相談所等への連絡調整	: 4件

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）について

富士市と沼津市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業を実施しました。

依頼があった時に、受け入れや引き取りについて連絡調整や直接接遇を行いました。

連絡調整及び相談件数 13件

※ショートステイ受け入れ件数 富士市：9名 40日、 沼津市：0名 0日

(4) 里親への対応 157件

(内訳)

委託前引継ぎ・相談 : 148件

病院への引き継ぎ等 : 9件

(5) 電話による育児相談 13件(赤ちゃん110番等)

赤ちゃん110番等、一般家庭からの電話による育児相談に対応しました。

(内訳) 育児に関する相談 : 2件 (授乳・夜泣き等)

疾病に関する相談 : 7件 (子どもの疾病を疑う相談等)

その他の相談 : 4件 (一般からの入所相談等)

(2) 平成25年度改修・修繕工事等報告

① 施設整備取替・補修等工事報告

実施内容	金額
機械チラー圧力計交換・給水タンク圧力ゲージ交換	18,900
布団乾燥機ダンパー修理	33,548
ロビー空調機ファンコイル修理	10,500
厨房電気交換修理	18,375
1階お風呂場換気扇・タイル・シャワー修理	951,300
オムツ交換室給水修理	348,600
水圏井戸滅菌器取替修理	39,375
砂場枠・砂交換修理	500,000
1階トイレ便座交換修理	73,710
玄関照明交換修理	118,650
給水タンクフラッグ修理	29,400
1階トイレ電気供給修理	96,600
事務所エアコン取替工事	257,000
受水槽ポータルタップ交換修理	33,600
1階プレイルーム電気配線等修理	339,150
館内老朽化電気配線・スイッチ取替工事	393,750
1階プレイルームエアコン取替工事	525,000
2階プレイルーム床張替、厨房・実習生室畳張替	336,000
構内電話配線工事	198,800
事務所蛍光灯取替工事	21,000

※ 1万円以上記載。

②購入物品報告(10万円以上)

購入物品	数量	設置及び使用場所(使用者等)
手指消毒器	3	ナースプール・厨房・1階トイレ

②購入物品報告(10万円未満)

購入物品	数量	設置及び使用場所（使用者等）
新版K式発達検査用具セット一式	1	園内
デジカメ	1	園内外(職員全員)
電子ピアノ	1	園内(保育士・リトミック講師)
非常災害用ランタン	10	園内全域
ブーチャー椅子	10	居室
加湿器	4	居室他
電子レンジ	1	厨房（栄養士・調理員等）
洗濯機	1	3階(実習生・園宿泊者等)
折りたたみ簡易ベット	2	2階宿直室(男子用・女子用)
デスクトップPC	1	事務所内(職員全員)
ノートPC	1	事務所内(課長)
冷蔵庫	1	事務所内(職員全員)
サーキュレーター	1	事務所内(職員全員)
来客用茶器収納棚	1	事務所内(職員全員)

資料 12施設運営改善等

(1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情 0 件

(2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成25年度の職員の給与へ反映させました。

(3) 第三者評価

平成25年度は毎月1回、第三者評価・自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、第三者評価を受審いたしました。また、自己評価を基に、改善に向けた中長期計画を作成しました。

第三者評価受審日：平成25年11月25日（火）～11月26日（水）

評価機関：有限会社セリオコーポレーション

①第三者評価結果の公表事項（PDF 文書抜粋資料）

第三者評価結果の公表事項（恩賜記念みどり園）

①第三者評価機関名

セリオコーポレーション有限公司

②施設名等

名称： 恩賜記念みどり園	種別： 乳児院
施設長氏名： 内藤順敬	定員： 30名
所在地： 静岡県	TEL 0545-53-5665

③実施調査日

平成25年11月26日（火）～11月27日（水）

④総評

◇特に評価が高い点

・「みどり園」は、その前身富士養育院を含めると創立（明治36年）より百十年の伝統ある施設である。乳幼児の愛着形成を重視し、長年積み上げ培われてきた養育・支援内容の上に、最新の社会的養護の動向を把握した新しい支援方法を積極的に取り入れ、養育・支援内容の向上に努めている。より高い要求水準を掲げ、入所児童の養育・支援にあたり、「子どもの最善の利益」のために努力していく積極的な姿勢がうかがわれた。

・子どもが担当養育者と個別なかかわりを持ち、愛着関係を築くことができるよう、担当養育者との1対1でのお泊り保育や誕生会等を実施し、一人ひとりの子どもが特定のおとなと個別なかかわりができる体制を整備している。さらに、子どもへの遊戯療法を取り入れ、週1回のセラピストによる個別支援を行っている。また、年長、年少の2グループ別でのリトミックも実施する等、様々な方法を取り入れ、子どもの成長・発達への支援に取り組んでいる。

・特に感染症に対しては、「乳児院は感染症との闘いである。」との認識のもとに、床への抗菌コート塗布、電解水生成システムの導入、食器・ほ乳瓶等の酸性水での消毒、感染症を考慮した清掃順序表に従った清掃、空気清浄機設置や酸性水での室内消毒、抗菌作用のある加湿器、手指消毒器、来客用スリッパ殺菌器等の設置、使用後のオムツをワンタッチで外に出せる装置の設置、オムツを替えた手で触らなくても水が出せる自動給水栓の設置等、感染症予防・感染症発生時の対応への取り組みが入念になされている。

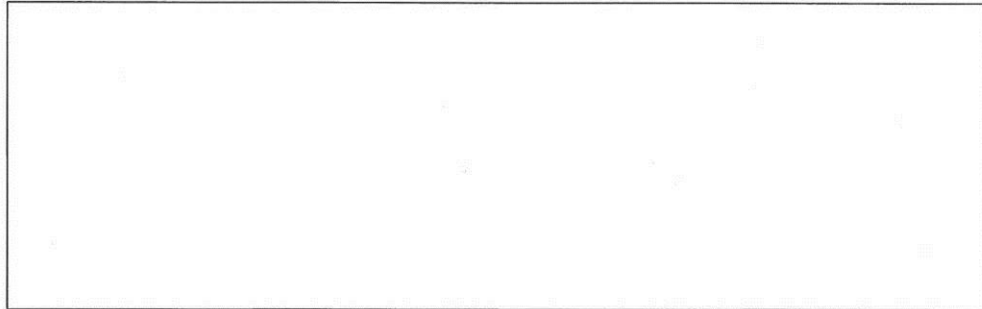
・子どもの尊重や人権への配慮、権利侵害の防止は、最重要事項として深く認識し、念入りな指導がされ、職員への周知、徹底に努めている。

◇改善が求められる点

・地域の具体的なニーズを積極的に把握し、ニーズに基づいた具体的な事業を中・長期計画の中に明示し、施設の機能を活かした地域支援に一層取り組むことが求められる。

・スーパービジョン体制については、指導職以上の職員が多くの仕事を抱えており、十分な体制の確立は難しいとの反省もある中、いつでも相談できる体制維持に努めている。さらに今後は、定期的に職員相互が評価する機会を設け、互いに助言し合う中で、施設全体として職員一人ひとりの援助技術の向上を図る取り組みが求められる。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント



⑥第三者評価結果（別紙）

特別養護老人ホーム みぎわ園

H25 年度事業報告

平成 25 年度は、「地域密着型複合型サービス みぎわの里」の建設に向けた動きに重点が置かれました。年度末には平成 26 年度富士市老人福祉 3 カ年計画、最終年施設整備補助金事業の快諾を得て建設、開所に向けての準備年度となっています。在宅系サービスについては、7 月よりデイサービスの提供日に土曜日営業を加え、サービス提供時間の変更を実施する中、職員の積極的取組の下で大きくその利用者減少もなく進められました。

特筆すべき点にショートステイの利用者増が大きく、その利用稼働率の伸びは収益に反映しました。これらの背景を総括する時、ケア内容の中身の充実と特色性のあるサービスへの展開を再考する時期でもあると感じています。

2025 年を見据えた次世代型老人福祉サービスへの展開をどう図るか、今後の介護保険事業展開と介護スキルの向上、これらが福祉サービスの両輪でもあると思います。法人の信頼と実績に裏付けられた下で職員の意識向上、職員一人ひとりが次への歩みをどう進めるか、そのための質の向上と意識強化は、各種委員会での議論をとおして徐々に功を奏しています。加えて、新会計基準への移行導入により資金運用が明確化され、次への経営の裏付けが出来た 1 年となり、飛躍を感じる年度であったと思われれます。



みぎわの里：完成予想鳥瞰図

実施報告

基本目標 1

1. 新規介護保険事業「地域密着型合型施設」の開設準備を進める。

・H25 年 7 月設計プレゼンを以って「スギ建築設計事務所」に設計監理を依頼し、基本設計及び実施設計と準備を進め、H26 年 2/14 日富士市より本施設建設事業開始に向けた受託承認を受け、3/27 日建築に係る設計審査を受け、基本設計及び実施設計と併せて建築実施の了承を得ました。

2. 地域包括ケアシステムを念頭に置いた吉原西部地域包括支援センター業務実績と内容の充実。

・新会計基準を移行導入によって、予防プラン等の実績評価を行う事と、支援内容との実績については吉原西部地域包括支援センター事業報告に替えます。

3. 人材育成の充実を図るべく、園内及び外部研修システムの整備と充実。

・本年度にて、認知症実践者研修修了、主任ケアマネ取得研修、訪問看護キャリア研修等での各技術養成者の育成と介護スキルアップ研修等を実施しました。
・園内研修においては、伝達研修を含め引続き研修システムを整備しながら継続しています。

4. デイサービス事業営業日の追加（7 月より土曜日営業を追加とする）

・7 月より実施し、利用者への利便性とこの需要に応じています。

基本目標2

1. 地震防災計画の見直しと防災設備機器、備蓄品の整備（非常用発電機汎用機器の入れ替え）

・非常用発電汎用機器設備は、引続き検討として保留としました。

2. 通信機器法人内無料化とPBX（電話交換機）の更新の検討

・H25年11月には、工事完了し法人間での通信の無料化が図られました。

3. 冷暖房電力省エネ化を図るべく施設西側面の遮光スクリーンの整備

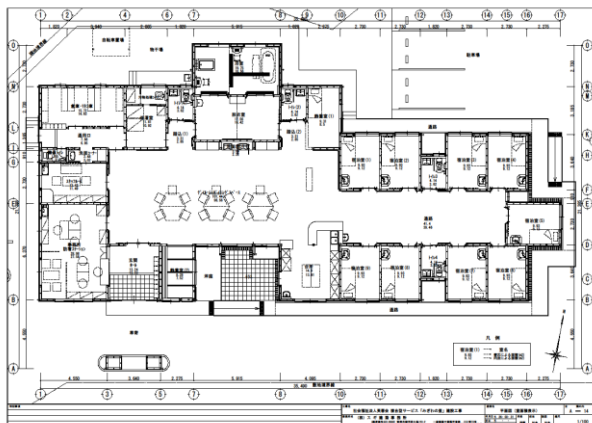
・H25年7月に配備し、建屋西面の西日対策について、ロール式遮光カーテン(リクシルスタイルシェード)の設置を実施し、居住環境の遮熱効果と省エネを実現しました。

4. 新規取得隣地境界進入路の整備

・次年度新規土地利用計画での整備として保留し、現状職員駐車場の緩和を図る上で土地整備と同時にみぎわ園への侵入経路として螺旋階段の設置を実施しました。

5. ランドリー（洗濯場）機能の省力化と整備

・H25年6月に洗濯室の改修整備を行い、従来の業務システムを変更し、同内部の改修と大型洗濯機、乾燥機の設備により、関連経費の削減と業務の短縮化、効率化が図られました。



みぎわの里 設計平面図



ランドリー改修と大型機洗濯機械



隣地進入螺旋階段



みぎわ園西面遮光シート

介護管理部門

実施目標

1. プリセプターシップの実施

・新人職員の緊張や不安を和らげる取り組みとして、3人の新人担当をユニットに配置し、キャリアパスを基本にリスクマネジメントに力を入れた指導を行いました。年間を通し実施した結果、評価として担当者達の多くに反省や気づきがみられました。今年度は、ショートを含めたそれぞれのユニットに新人担当者を配置し、新人担当者連絡会を発足1回／月の連絡会の下で、新人職員の情報交換、指導内容の検討、勉強会等を行い担当職員のスキルアップを図りながら、新人職員教育の充実を図っています。

2. QOL 委員会部会活動内容及びレクリエーション係の見直しを図る

・QOL 委員会を発展的に組織変更をかけ、三大レクリエーション係を設け QOL レク部会主催による合同レク(映画館・運動会・豆まき・野菜作り)を行う事ができ、お年寄りには、普段見られない笑い声や沢山の笑顔を見せて貰い、運動会では、それぞれ昔の姿を感じさせる様な活気のある動きが見られました。又、お年寄り職員が一丸となって取組んだ成果は、特に運動会での感動のある素晴らしいものとなりました。

3. 介護・看護・多職種連携サービス向上会議の設置を図る

・サービス向上会議を設けることはできませんでしたが、ケア上で問題が生じたり、あるいは予測される場合は、その都度、多職種で臨時の会議を開き家族を含めての対応をしました。

4. 住環境の整備を図る

・住環境整備については、各部署リーダーを中心に動きがとられているが、今後に向けトータルの住環境整備の検討を進めるとしています。



法人夏まつり風景



秋の合同運動会



合同節分豆まき大会

看護管理部門

実施目標

1. 医師との連携を図り、ご家族に適宜健康状態を報告することで、情報を共有し信頼関係を築いていきます。

・入居者の状態変化を医師へ正確に情報提供し、ご家族へも随時報告することで、信頼関係を築くことができました。

2. 情報の共有から、「その人らしい」ターミナルケアへと繋げていくことに努めます。

・ご家族とのコミュニケーションを図り、入居者の生活歴を少しでも多く知ることにより、終末期もその人らしく過ごすことができました。

3. 全職員が感染防止対策の周知徹底ができるよう伝達講習会を実施し、その充実に努めます。

- ・感染対策伝達講習会の定期実施は定着し、職員と入居者の予防接種も行き、インフルエンザ・ノロウイルスの防疫体制の強化に努めることができました。

4. 医療的ケアを、委員会等で介護職と共に学習していきます。

- ・痰の吸引、胃ろう処置に関しては、新しい職員にはDVDで自己学習し、疑問・不安なことは委員会や日々のケアの中で理解できるように努めました。

特養事業部門総括

実施目標

1. 認知症について各自理解を深める（研修への参加など）

- ・入居者と共に、時間を過ごすことで会話多く持ち、心の和みを感じる事、会話の手法を変えること(否定をしない会話)で、話の多くを聴く事が出来ました。

2. 実習生に教える指導力のスキルアップを図る。

- ・職員個々の技術力の違いもあり、指導内容のマニュアルが必要だと感じました。

3. 記録等を明確な言葉で丁寧に書く。（専門用語は使わない）

- ・その場、その時の状況を逐語式に言葉と記録に書くことができるようになってきました。

4. 職員同士、報告、連絡、相談をしっかりとできるような関係を築く。

- ・職員同士、報・連・相をもっとしっかりしていく必要があると思います。職員思っている事を会議などでしっかり発言できるような環境を作っていきたいと思います。

5. 笑顔で接する事を心掛け、日々悔いのないケアを心掛ける。

- ・職員一人ひとり笑顔を心掛けてはいると思いますが、業務に追われてしまうと、つい笑顔を忘れてしまいがちとなり、心にゆとりを持つよう努め、実践のあるケアをしていく必要があると思います。

6. ターミナルケアの実施の中で、ご利用者、ご家族に対してターミナルケア実践マニュアルに沿って、職員一丸となり心をこめた介護支援を実践する。

- ・入居者の状態の変化に素早く気付き、その場の対応、ターミナルケアではその人らしい支援をすることが出来ました。

7. 意思疎通のできない入居者様への余暇活動を充実させる。

- ・仕事の忙しさを理由に、ベランダに一緒に出る事だけになってしまいました。私達の仕事は、訴えのある方のお世話をすることはもちろんのこと、訴えのできない方の思い、寝たきりの方、表現に乏しい方達にも目を向け、想いを汲取りケアする事が重要だと思います。同じ生活を繰り返すのではなく、「変化のある生活」を提供していきたいと思います。

8. 誤薬をなくす。

- ・毎年の目標にしていたものの、今年度も何件かの誤薬をしてしまいました。
誤薬⇒NS 報告⇒経過観察というように業務的になってしまう、そこに「なぜ誤薬をしてしまったのか？」とした事故内容を明確にし、皆で反省し話合うことができなくなかったと思います。今後もこの事を踏まえ、その都度しっかり話し合い誤薬をなくしていきたいです。

在宅事業部門

ショートスティみぎわ園

実施目標

1. 水分補給をしっかりと行き、看護との連携を執りながら個々の体調管理を行います。
 - ・利用者の体調管理につきましては看護師や家族との連携が取れ早目の対応が出来ました。水分補給に関しては今後も続けたいと思います。
2. 利用時の手指消毒を徹底するなど感染防止対策を確実にいき、快適な環境整備に努めます。
 - ・感染伝達等の講習にも進んで参加し、職員の意識を高め、利用者の入所時及び食事やおやつ前の手指消毒の徹底を行いました。フロア内の環境整備は、利用者と一緒に壁画作りに取り組みました。
3. レクリエーション・行事の充実を図ります。
 - ・三大レク、蕎麦打ち、おもちゃつき、鍋、など楽しく行う事ができました。今後も色々な事にチャレンジしていきたいと思っています。



朝霧花鳥園ハイキング



中央公園 薔薇の鑑賞ハイキング

デイサービスセンターみぎわ園

実施目標

1. 季節行事の企画実施に当りアンケート調査等を行い、利用者、家族の声に反映させます。
 - ・定期的にアンケートを実施し、利用者及びご家族の希望を取入れることにより個別での外食や買い物、又は、季節を感じることができるような「お花見」「初詣」「紅葉見学」を企画し行ってきました。
 - ・屋外での活動や季節行事を積極的に行い、他者との交流を持つと共に歩行訓練をすることにより身体機能の維持を図ることもできました。ご家族からの要望もあり自宅ではできないような活動を行うこともできました。
2. 利用者人数を1日当たり9.8人、平均稼働率81%を目指し7月より土曜営業を追加し、多くの方々に「地域密着型デイサービス」について理解して頂けるよう、広報活動を実施する。
 - ・24年度以上の稼働率は上げることができませんでしたが、7月より土曜日の営業を開始し、多くの居宅事業所からのケースを頂く事が出来るようになり、施設の事を知って頂く事が出来るようになりました。



デイサービスみぎわ園 外出レクリエーションの様々な風景



ふようデイサービス

実施報告

今年度は、「選んで頂けるデイサービス」を目指し行事別に事前アンケートを行い、皆様の望まれるサービス提供を目指してまいりました。5月からは、提供時間の延長、7月には土曜日の営業を追加するなど今まで以上に利用者の選択の幅が広がり、収益のアップを図る事が出来ました。また土曜日の営業に伴い利用定員を35名から30名に変更することで利用者一人ひとりに対するケアを厚く行うことが出来ました。

1. 稼働率 81.0% 平均利用人数 25.2 名/1 日、サービス提供時間の変更により利用者に提供時間を選択して頂くことが出来ました。
2. 野外レクリエーションの継続により利用者のニーズに対応することが出来ました。
3. 入浴時間の変更、延長により利用者様にゆっくりと入浴として頂くことが出来ました。



敬老会：大正琴の演奏会



敬老会の様子



ロゼシアター開催福祉展の見学



秋の遠足風景





クリスマス会



米の宮浅間神社への初詣



節分の風景様々

ふよう居宅支援事業所

実施報告

今年度は職員配置での退職や異動・補充と、事業所、職員にとっても落ち着いた一年でした。

退職に伴う担当ケースを振り分け利用者や家族にご迷惑をかけない様に心がけ、結果引継ぎもスムーズな移行ができ、現段階においても信頼関係が築けていると思います。

12月には主任介護支援専門員の退職に伴い職員の補充、補充された職員も体調不良により年度末をもって退職する事となり、業務変更が行われましたが、その補充も2月には就いて、現在に至っています。

利用者や家族には、職員配置等での問題によりご迷惑を掛けたくない様十分に注意し、利用者・家族の要望や意見に耳を傾け、親身になって対応説明する姿勢をもって、安心と信頼を維持し続ける事ができました。

[特定事業所加算Ⅱに関して]

平成25年12月、主任介護支援専門員の退職に伴い、平成26年1月～2月の2ヶ月間は加算算定ができませんでしたが、新規主任介護支援専門員取得者の任用も出来、3月からは再度算定可能となっています。

[研修について]

県主催の介護支援専門員更新研修、静岡県社協が実施する認知症実践者研修、富士市主催の介護支援専門員基礎研修、吉原西部包括支援センター主催による小地域ケア会議(3ヶ月に1回)に参加し自己研鑽を行ってきました。月1回の事業所内研修を行い、様々な参加した研修の報告や勉強会、事例検討等により事業所全体の専門技術向上を図る事ができました。

富士市吉原西部地域包括支援センター

実施報告

平成25年度は、富士市より地域包括支援センターを受託し2年が経過致しました。

- (1)総合相談事業について、ワンストップサービスを徹底し、対応しました。また、多種多様な相談に応じる為、職員自ら率先的に研修に参加致しました。
- (2)介護予防ケアマネジメント事業について、介護が必要となる可能性の有る方に対して、介護予防事業へと繋ぎ、切れ目のない対応を行いました。
- (3)権利擁護事業について、虐待ケースに対して早期対応し解決に向け取り組みました。
- (4)包括的継続的ケアマネジメント事業について、医療機関・警察・民生委員・介護保険事業所等とケースについて連携を行い活動致しました。

認知症サポーター養成講座について、年間16回開催し、573名のサポーター養成を行いました。地域ケア会議を、吉原・今泉・伝法地区合同で、『災害にあっても何とかしたい！何とかしよう！！何とかなる！！！地域づくりを目指して』と題して、民生委員・福祉推進会・社会福祉協議会・居宅介護支援事業所と協力し開催致しました。

吉原西部エリア 地域ケア会議の様子



資料1：介護予防給付実績状況

平成25年度 介護予防給付ケース表		
直 営	要支援1	169件
	要支援2	318件
	小 計	487件
委 託	要支援1	467件
	要支援2	1,153件
	小 計	1,620件
合 計		2,107件

資料2：会議・講座・教室 等の開催状況

会 議・団 体 等	開 催 回 数
民生児童委員協議会：今泉地区 吉原地区 伝法地区	1回/月
福祉推進会議：今泉地区	1回/月
いきいきサロン：かざぐるま ふじ桜	1回/月
悠容クラブ：明老会 睦会	1回/月
富士市地域包括支援センター運営協議会	3回/年
地域包括支援センター連絡会	1回/月
富士圏域の地域包括支援センター連絡会	1回/2ヶ月
富士広域成年後見人連絡会	1回/年
富士市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会	1回/年
地域ケア会議	3回/年
地域密着型運営推進会議 (わたの里・みなみ風・快明堂・ひので・たみの里)	1回/3ヶ月
キャラバンメイト養成講座	16回/年
介護予防教室	5回/年
地域行事 善得寺祭り・ふれあい配食・今泉地域住民交流会・今泉小昔の遊び集会・第二保育園交流会・福祉祭り・今泉地区文化祭・伝法地区夏祭り・伝法地区福祉推進会 15周年記念・伝法地区文化祭・伝法地区春の祭り・吉原宿場祭り 等	

資料3：研修参加状況

研修名	参加	研修名	参加
新任職員研修	2	虐待帳票研修	1
介護保険制度	2	ふじのくに型窓口研修	1
車イス講習	2	高齢者虐待対応現任者研修	1
富士圏域地域包括支援センター研修	2	日常生活自立支援制度について	1
介護支援専門員基礎研修	4	地域包括シンポジウム	1
ふじのくに型福祉サービス	2	窓口研修	1
スーパービジョン研修 3回	8	県集団指導	1
吉原西部エリアCM研修	6	CMステップアップ研修	6
介護支援専門員基礎研修	5	CMアセスメント向上研修	2
居所作り研修	1	包括グループスーパービジョン	2
包括職員基礎研修	2	アセスメント研修 3回	6
虐待対応者研修	1	認知症の人への関わり	1
県東部地域介護予防運動教室担当研修	1	静岡県地域生活定着支援センター啓発研修	1
かかりつけ医認知症向上研修	1	キャラバンメイト養成研修	3
法律家と精神保健福祉関係者研修会	1	富士の国型地域包括ケア研修	1
居所実施研修	1	エリア内ケアマネ研修	6
多重債務研修	1	介護給付適正化セミナー	1
権利擁護広域ネットワーク研究会	1	居所作り研修	1

給付管理研修	1	ケアマネ指導者研修	2
虐待シンポジウム	1	ふじのくに見守り手帳研修	1
これからの介護予防の視点	1		



敬老会：全員で復興ソング“花は咲く”を合唱



百歳のお誕生祝い：山田のふ様・遠藤春子様



富士川楽座での外出レク



事業実績
特養部門

1. 施設利用者の状況（年齢・介護度）

		特 養	ショートステイ	デイサービス みぎわ園	ふ よ う デイサービス	居宅支援 事業所
平均年齢	男(歳)	80.9	82.8	78.7	82	81.6
	女(歳)	86.5	86.4	80.6	87.2	84.8
	平均(歳)	83.7	84.6	79.65	84.6	83.2
平均介護度	男	3.4	2.8	3.1	2	2
	女	3.7	2.7	3.3	2.1	2
	平均値	3.6	2.8	3.2	2.1	2.0

H26年3月末実績値

2. 特養ホームみぎわ園 年間入退居者数

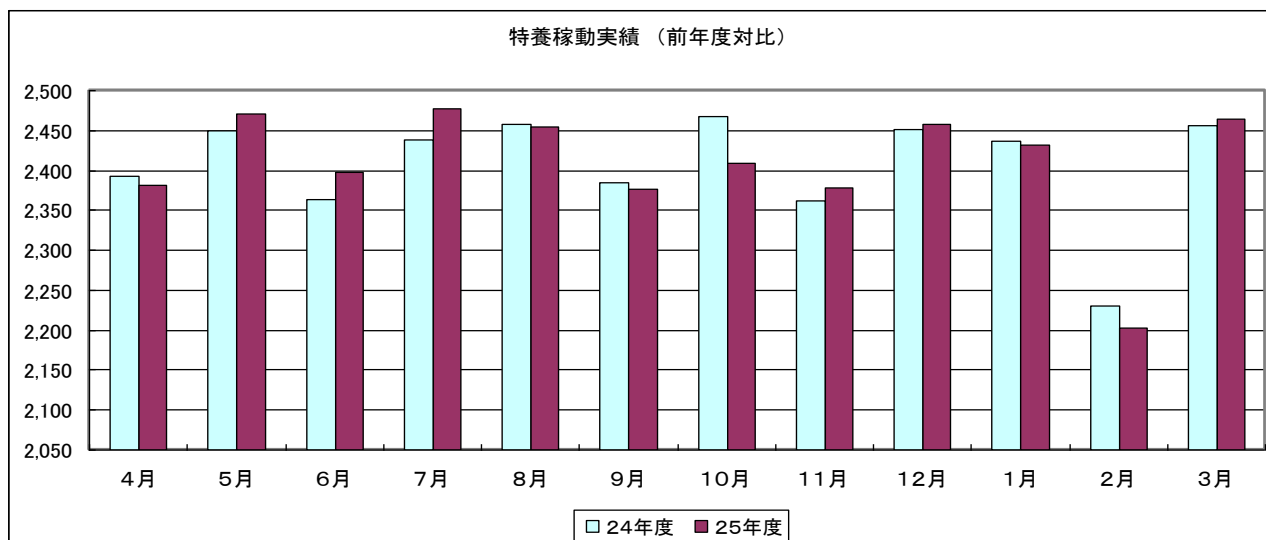
単位/人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居者 (人)	1	3	0	1	3	3	1	2	3	3	2	1	23
退居者 (人)	2	2	0	2	3	2	1	3	3	2	2	1	23

1) 特養部門

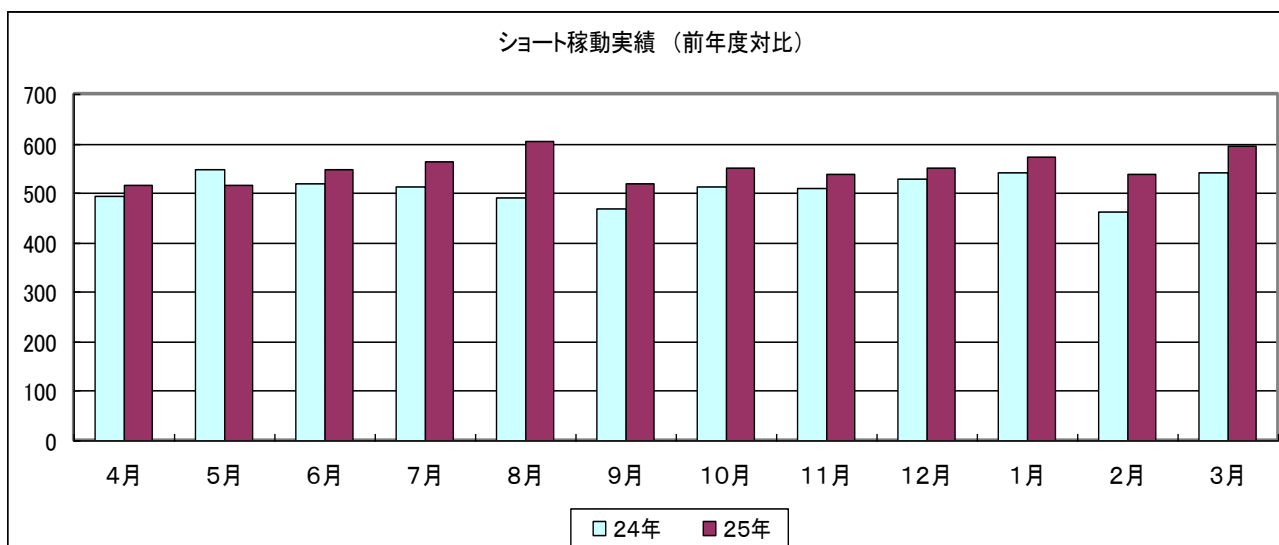
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年	2,393	2,449	2,364	2,439	2,457	2,385	2,467	2,362	2,452	2,436	2,230	2,456	28,890
25年	2,382	2,471	2,397	2,477	2,454	2,376	2,409	2,378	2,457	2,431	2,202	2,465	28,899
25-24	-11	22	33	38	-3	-9	-58	16	5	-5	-28	9	9
稼働率	99.3%	99.6%	99.9%	99.9%	99.0%	99.0%	97.1%	99.1%	99.1%	98.0%	98.3%	99.4%	98.70%

(平成24年2月は閏年 29日)



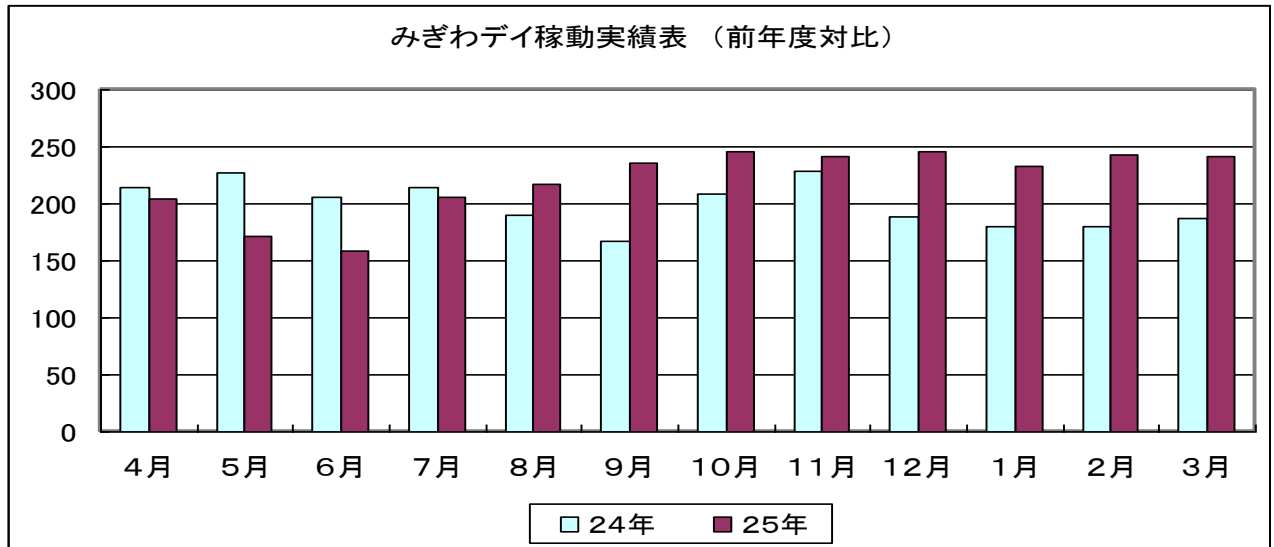
2) ショートスティみぎわ園

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年	495	548	521	514	490	470	512	509	528	542	464	541	6,134
25年	515	516	547	563	606	518	552	537	552	572	540	597	6,615
25-24	20	-32	26	49	116	48	40	28	24	30	76	56	481
稼働率	86%	83%	91%	91%	98%	86%	89%	90%	89%	92%	96%	96%	90.37%



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年	214	227	206	215	190	167	208	229	189	180	180	187	2,392
25年	204	172	159	206	217	236	246	241	246	233	243	242	2,645
25-24	-10	-55	-47	-9	27	69	38	12	57	53	63	55	253
稼働率	79%	66%	61%	67%	70%	76%	80%	78%	80%	75%	79%	78%	74.91%

稼働率:営業日(4-6月) 21.6日、営業日(7-3) 25.8日として計算

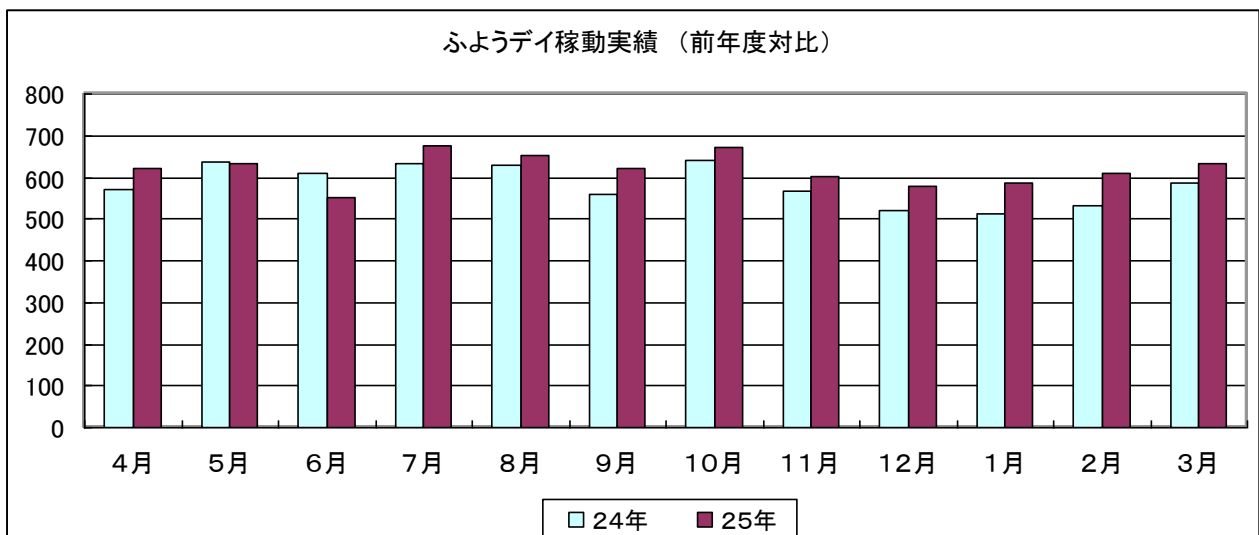


4) ふようデイサービスセンター

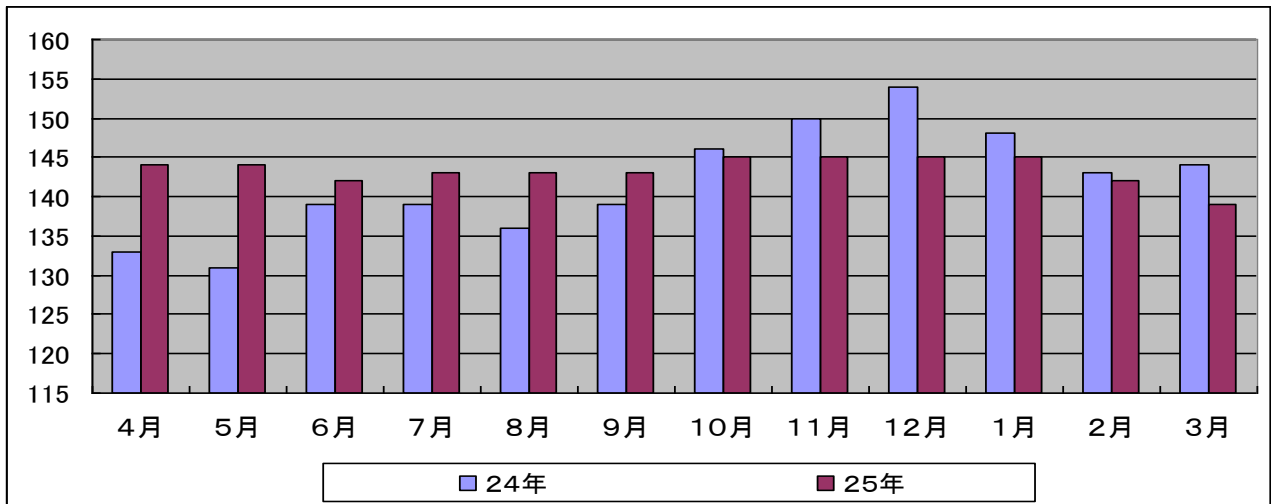
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年	569	635	610	632	630	558	641	567	522	512	533	585	6,994
25年	622	633	553	676	654	622	673	603	577	585	610	634	7,442
25-24	53	-2	-57	44	24	64	32	36	55	73	77	49	448
稼働率	82%	84%	73%	87%	84%	80%	87%	78%	75%	76%	79%	82%	80.59%

稼働率:営業日(4-6月) 21.6日、営業日(7-3) 25.8日として計算

7月より定員を(35人→30人/日)変更



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年	133	131	139	139	136	139	146	150	154	148	143	144	1,702
25年	144	144	142	143	143	143	145	145	145	145	142	139	1,720
要介護	127	126	125	125	122	124	125	126	123	123	119	116	1,481
要支援	17	18	17	18	21	19	20	19	22	22	23	23	239
25-24	11	13	3	4	7	4	-1	-5	-9	-3	-1	-5	1.5
新規件数	3	3	3	4	3	3	2	4	4	5	3	0	37.0
終了件数	5	2	5	3	2	4	0	4	4	5	6	3	43.0



運動会：勝利を祝ってVサイン



静岡：木下大サーカス見学



運動会：玉入れ競争

5. H25年度リスクマネジメント集計（インシデント・アクシデント報告）

全件数 188 件

場所	件数
居室	95
食堂	31
パブリック	32
廊下	0
トイレ	13
浴室	4

内容	件数
転倒	94
転落	36
ズリ落ち	6
誤嚥	2
異食・誤飲	1
皮膚剥離	6

月	件数
4月	18
5月	11
6月	14
7月	17
8月	24
9月	18

曜日	件数
月	27
火	27
水	18
木	28
金	25
土	36

送迎	0
屋外	7
その他	3
不明	3

誤薬	20
無断外出	7
配薬ミス	7
その他	9

10月	7
11月	22
12月	14
1月	18
2月	6
3月	19

日	27
---	----

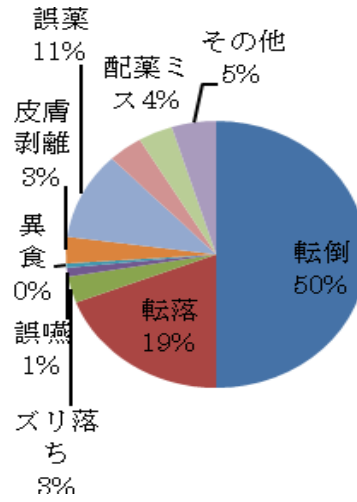
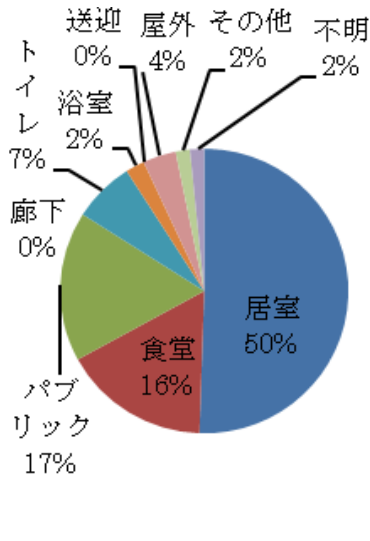
介護度別件数	
介護度	件数
要介護 1	11
要介護 2	35
要介護 3	87
要介護 4	34
要介護 5	16
要支援 1	0
要支援 2	0
不明	5

男女別件数	
性別	件数
男性	42
女性	146
不明	0

部署別件数	
部署	件数
1F南	29
1F北	47
2F	28
3F	29
SS	55
テイ	0

場所別グラフ

事故別グラフ



実習生受入状況

学校名	人員	実習期間	延日数
静岡県立 富士宮東高等学校	3名	5月8日～5月24日	12日
(福祉科)	3名	7月17日～7月31日	10日
	3名	10月1日～10月18日	11日
静岡福祉医療 専門学校	3名	6月24日～7月26日	25日
	3名	9月4日～9月6日	3日
	1名	9月11日～9月12日	2日
	1名	1月20日～1月31日	10日
身延山大学	1名	2月17日～2月21日	5日

静岡県社会 就労センター	1名	11月11日～11月13日	3日
Fuji アカデミー	1名	5月8日～5月10日	3日
	1名	7月23日～7月25日	3日
	1名	8月5日～8月7日	3日
	1名	8月28日～8月30日	3日
	1名	10月21日	1日
英和短期大学 福祉体験学習他	1名	8月1日～8月3日	3日
	1名	8月12日	1日
合計	26名		98日

7. ご家族面会状況

4月	526	5月	649	6月	618	7月	599
8月	714	9月	747	10月	563	11月	591
12月	655	1月	497	2月	466	3月	446

面会者年間延数

7,071 人

(平均約 19人/1日)

8. 職員研修状況報告

1) 特養部門

	年月日	年月日	タイトル	主宰	研修先	職種	人
1	H25.4.11		富士・富士宮・芝川地区特養栄養士会	栄養士会	富士市	栄養士	1
2	H25.5.12		サービス付高齢者向け住宅 (市場急拡大のその先を読む)	日経ヘルスケア	品川	副園長	1
3	H25/5/16.17		新任職員研修 I	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
4	H25.5.21		介護食無料調理実習会	フードデリ	三島市	栄養士	1
5	H25.5.21		レクリエーションの基本的な知識	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
6	H25.5.26		褥瘡ケアスキルアップセミナー	メディカルセミナーズ	静岡市	特養看護	2
7	H25.6.11		感染症講座(初級編)	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
8	H25.6.12		富士・富士宮・芝川地区特養栄養士会	栄養士会	富士市	栄養士	1
9	H25.6.12		介護職のための記録の書き方	県介護労働安定センタ	静岡市	特養介護	1

10	H25.6.14		傾聴講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
11	H25.6.14		高齢者の転倒骨折予防アセスメント	かいごナビ	静岡市	特養介護	1
12	H25.6.14		傾聴講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
13	H25.6.14		高齢者の転倒骨折予防アセスメント	かいごナビ	静岡市	特養介護	1
14	H25.6.26		介護記録の書き方講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
15	H25.7.2		続・認知症高齢者支援講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	2
16	H25.7.2		施設事務職員経理基礎講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務	1
17	H25.7.2		認知症高齢者支援講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
18	H25.7.3		認知症介護実践研修(全6回)	県社会福祉人材センタ	富士市	特養介護	1
19	H25.7.21～		介護福祉士実習指導者養成講習会 (全4回)	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
20	H25.7.30		高齢者福祉研究大会	県老人福祉施設協議会	静岡市	特養介護	4
21	H25.7.31		施設事務職員経理応用講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	事務	1
22	H25.8.1		ウィルス性肝炎結果の見方と肝炎治療	富士健康福祉センター	富士市	特養看護	1
23	H25.8.1	H26.1.23	訪問看護師養成講座	静岡県看護協会	静岡市	特養看護	1
24	H25.8.6		社会福祉法人会計の応用 実践的な経理事務	県社会福祉人材センタ	静岡市	事務	1
25	H25.8.6		続・認知症高齢者支援講座	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	2
26	H25.8.10	H25.11.9	富士市の認知症への取り組み	介護事業者連絡協議会	富士市	特養介護	4
27	H25.8.21	H25.8.22	中堅職員研修	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
28	H25.8.27	H25.8.28	新任職員研修 I	県社会福祉人材センタ	三島市	特養介護	4
29	H25.9.7		ノロウイルスに感染しない 拡げないための方法を学ぼう	日本感染管理 ネットワーク	静岡市	特養看護	1

30	H25.9.25		その人らしく暮らして頂くために	静岡県介護指導課	沼津市	介護ほか	8
31	H25.10.2		福祉職合同入職式フォローアップ研修	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	1
32	H25.10.19	H25.11.30	感染対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	特養看護	2
33	H25.11.2		身体拘束廃止推進看護実務者研修	静岡県看護協会	静岡市	特養看護	1
34	H25.11.15		施設種別、事故とリスクマネジメント	損保ジャパン	静岡市	特養介護	5
35	H25.11.16		創傷ケアセミナー	スミスアンドネフュー マウンドマネジメント	静岡市	特養看護	1
36	H25.12.5		事例から学ぶ管理者の事故対応	県老人福祉施設協議会	静岡市	特養介護	1
37	H25.12.24		排泄ケア講座 (おむつを外し尿失禁を改善する)	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養介護	2
38	H26.1.28		介護職員 研究発表会 研究発表	静岡県健康福祉部	静岡市	特養介護	2
39	H26.2.1		福祉避難所研修会	富士健康福祉センター	富士市	副園長	1
40	H26.2.13		社会福祉法人の会計における課題	社会福祉法人 梓友会	沼津市	事務	1
41	H26.2.14		新会計基準による決算業務について	県社会福祉協議会	静岡市	事務	2
42	H26.2.16		「介護事故判例に学ぶ」	東部福祉情報専門学校	沼津市	相談員	1
43	H26.2.16		要介護認定の仕組みを理解し、高齢者 身体機能や心理的向上を図る	東部福祉情報専門学校	沼津市	特養看護	1
44	H26.2.17		高齢者施設における看護師研修	県社会福祉人材センタ	静岡市	特養看護	2
45	H26.2.20		こう変わる介護保険制度・ ユニットケアの実践のポイント	静岡県個室ユニット型 施設連絡会	静岡市	副園長	2
46	H26.2.25		科学的介護の実践と包括的な支援	県老人福祉施設協議会	静岡市	特養介護	2
47	H26.2.25		平成25年度 静岡県給食協会事例研究発表会	県給食協会	静岡市	栄養士	1
48	H26.2.26		地域見守体制と成年後見人制度研修	県社会福祉協議会	沼津市	相談員	1
49	H26.2.25		社会福祉施設でのリスクマネジメント		沼津市	特養看護	1
50	H26.2.22		男性介護者のためのシンポジウム	県社会福祉協議会	富士市	特養介護	1

2) 在宅部門

・ショートスティみぎわ園

	年月日	年月日	タイトル	主宰	研修先	職種	人
1	H25.5.16	H25.5.17	新任職員研修 I	県社会福祉人材センタ	静岡市	介護	1
2	H25.6.10		認知症介護予防教室	県社会福祉人材センタ	静岡市	介護	1
3	H25.6.24		社会福祉事業従事者に必要な 福祉の基礎知識	県社会福祉人材センタ	静岡市	介護	1
4	H25.7.21	H25.8.31	介護福祉士実習指導者養成講習会 (全4回)	県社会福祉人材センタ	静岡市	介護	1
5	H25.7.30		高齢者福祉研究大会	県老人福祉施設協議会	静岡市	介護	1
6	H25.8.10	H25.11.9	富士市の認知症への取り組み	介護事業者連絡協議会	富士市	介護	1
7	H25.9.20		富士市防火教会視察研修	富士市防火教会	東京都	防火管理	1
8	H25.9.25		介護保険サービス事業者説明会	静岡県	沼津市	相談員	1
9	H25.11.1		総合防災訓練視察	静岡県	御殿場市	防火管理	2
10	H25.11.15		施設種別事故リスクマネジメント	損保ジャパン	静岡市	介護ほか	
11	H26.2.1		福祉避難所研修会	富士健康福祉センター	富士市	相談員	1



H25・福祉展みぎわ園作品集



福祉人材センター主催：就職説明会

・ふよう居宅支援事業所

	年月日	年月日	タイトル	主宰	研修先	職種	人
1	H25.5.12		サービス付高齢者向け住宅 (市場急拡大のその先を読む)	日経ヘルスケア	品川	ケアマネ	1
2	H25.7.10	H25.10.28	介護支援専門員 更新研修(10回)	静岡県	静岡市	ケアマネ	1
3	H25.7.16	H25.9.27	認知症介護実践者研修(全6回)	県社会福祉協議会	富士市	ケアマネ	1
4	H25.8.21	H25.11.20	主任介護支援専門員研修(全11回)	静岡県健康福祉部	静岡市	ケアマネ	1
5	H25.9.11		ごみ放置・孤独死・ セルフネグレクトから高齢者を救え	富士市	富士市	ケアマネ	1
6	H25.9.25		介護保険サービス事業者説明会	静岡県	沼津市	ケアマネ	3

7	H25.10.3		介護支援専門員 アセスメント力向上研修	富士市	富士市	ケアマネ	1
8	H25.10.3	H25.11.21	主任介護支援専門員研修(全3回)	富士市	富士市	ケアマネ	1
9	H25.11.5		地域密着型サービスの事業展開 に関する研修	県老人福祉施設協議会	静岡市	ケアマネ	1
10	H26.3.3	H26.3.4	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	静岡県	静岡市	ケアマネ	1
11	H26.2.18		若年性認知症の人と家族のつどい		静岡市	ケアマネ	1



みどり園園舎にてお花見会



クリスマス会職員劇団（水戸黄門）